

調査結果の 概要

第1章

I 児童生徒に対する調査 ● 34

1 実技に関する調査結果 ● 34

2 1週間の総運動時間と体力・運動能力 ● 42

3 運動やスポーツに対する意識 ● 48

4 体育・保健体育の授業に対する意識 ● 50

5 生活習慣と体力 ● 51

6 体格と体力、運動習慣 ● 57

II 学校に対する調査 ● 59

I 児童生徒に対する調査

1 実技に関する調査結果

1-1 実技結果と経年変化（国・公・私立学校）【小学校】

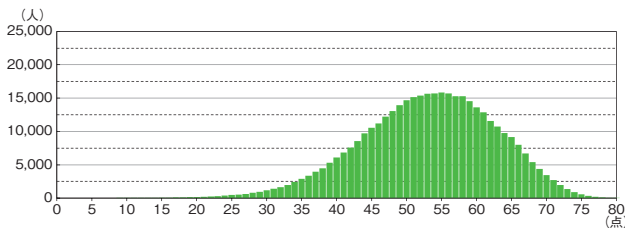
〈実技結果〉

令和7年度調査の体力合計点の平均値は男子が53.03点、女子が53.98点であった。なお、各種目の実技結果の分布及び平均値と総合評価の段階別の割合は次のとおりである。

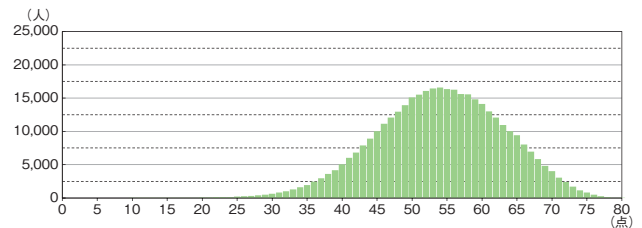
〈体力合計点〉

※得点基準は男女により異なる。

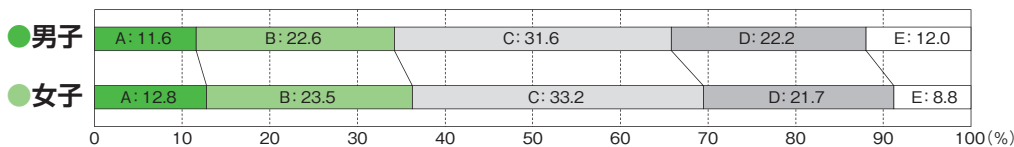
●男子	標本数	平均値	標準偏差
	390,879人	53.03点	9.66



●女子	標本数	平均値	標準偏差
	385,463人	53.98点	9.10

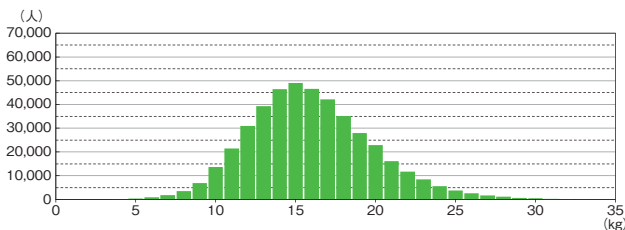


〈総合評価・段階別〉

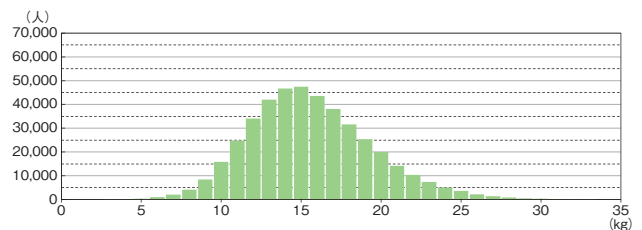


握力

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	442,735人	15.97kg	3.91

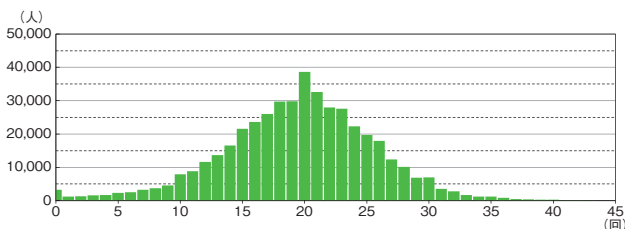


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	431,894人	15.61kg	3.87

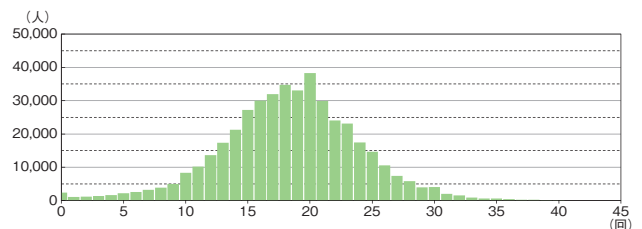


上体起こし

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	451,617人	19.45回	6.20

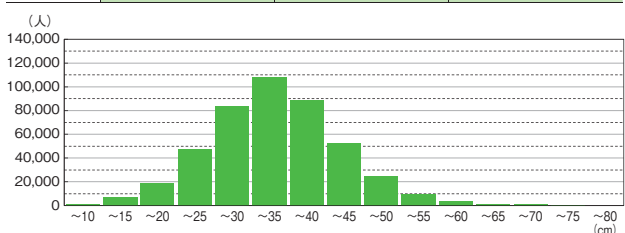


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	439,211人	18.36回	5.65

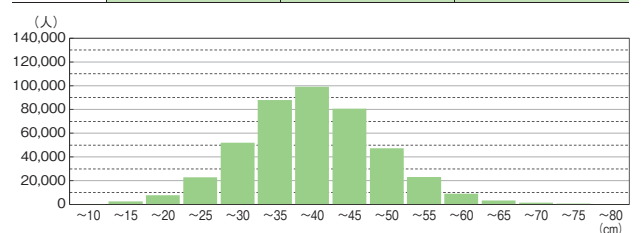


長座体前屈

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	449,856人	33.88cm	8.96

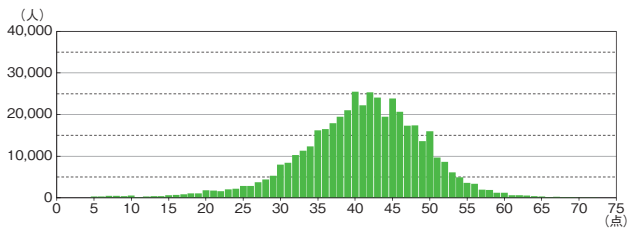


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	438,357人	38.17cm	9.20

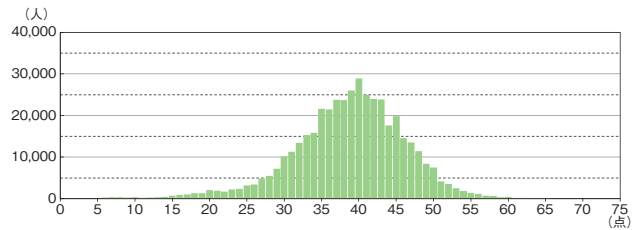


反復横とび

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	449,794人	40.90点	8.51

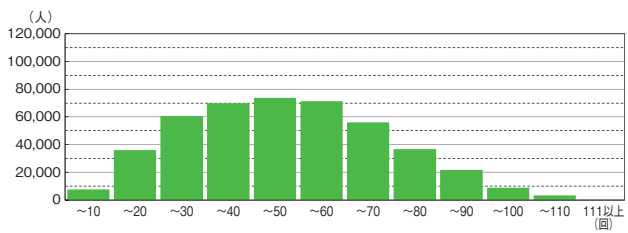


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	437,618人	38.71点	7.59

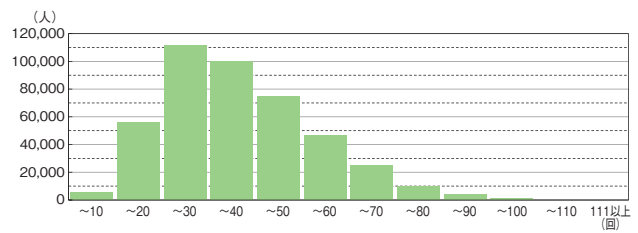


20m シャトルラン

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	446,393人	47.95回	21.28

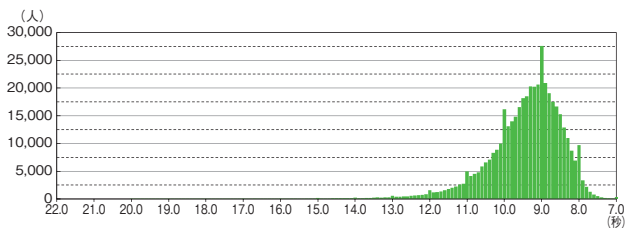


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	433,945人	36.87回	16.04

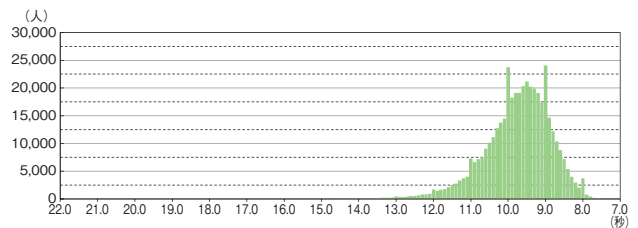


50m 走

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	442,168人	9.46秒	1.11

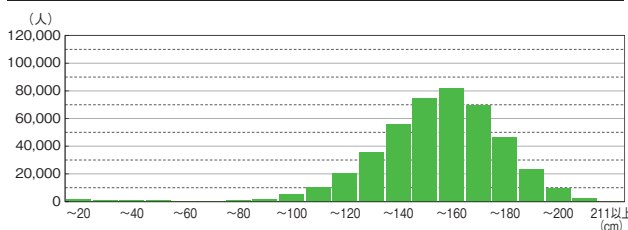


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	430,273人	9.77秒	0.99

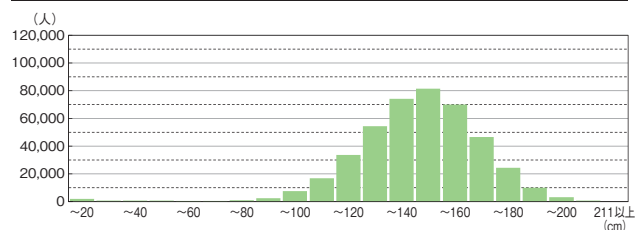


立ち幅とび

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	444,324人	150.96cm	25.06

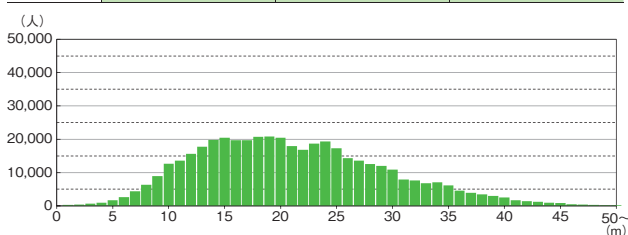


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	432,640人	142.39cm	24.22

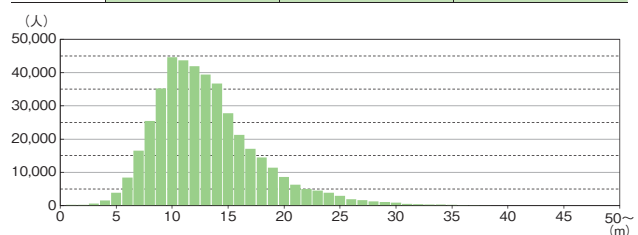


ソフトボール投げ

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	442,015人	21.06m	8.35



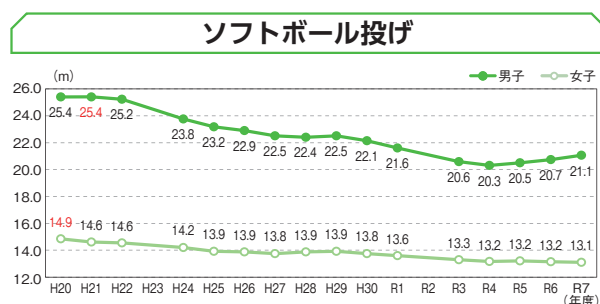
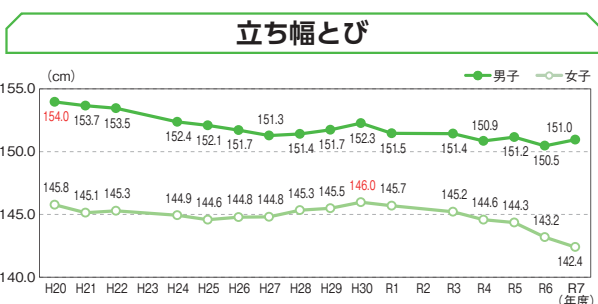
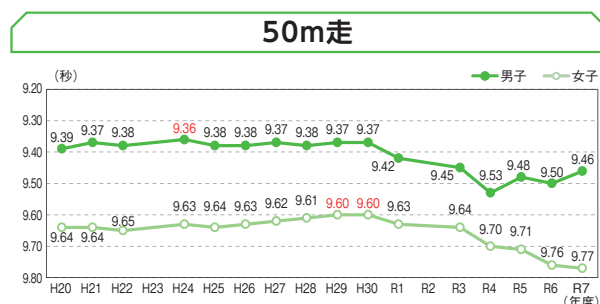
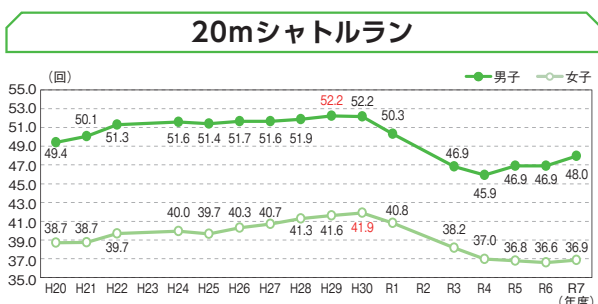
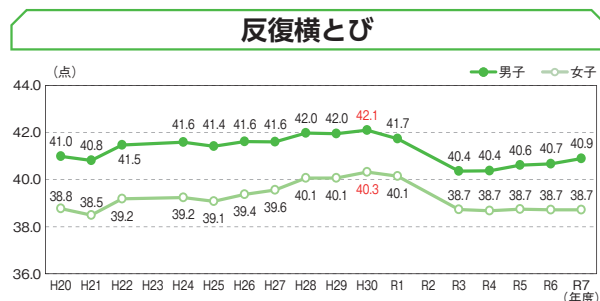
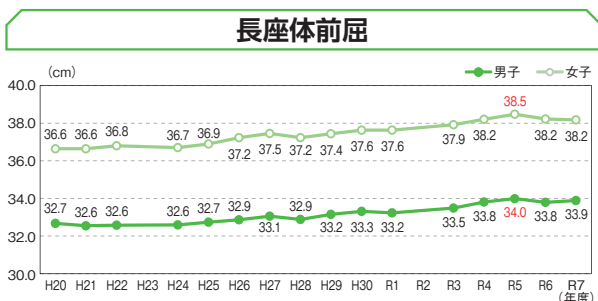
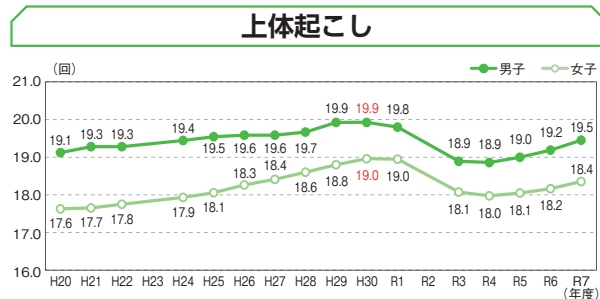
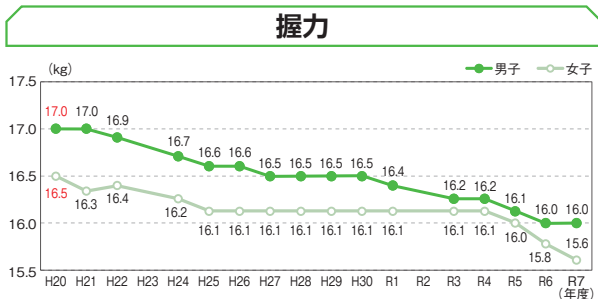
●女子	標本数	平均値	標準偏差
	431,113人	13.10m	4.75



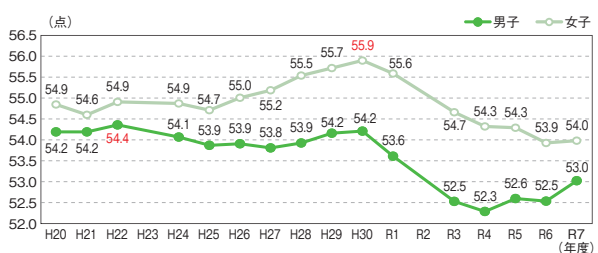
〈各種目の経年変化〉

種目別に見ると、令和6年度に比べ、男女ともに「上体起こし」「20mシャトルラン」は向上した。「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」は、男子は向上し、女子は低下した。また、体力合計点については、男子は0.5点、女子は0.1点増加した。

※赤い数値は最高値（小数第2位までの比較）



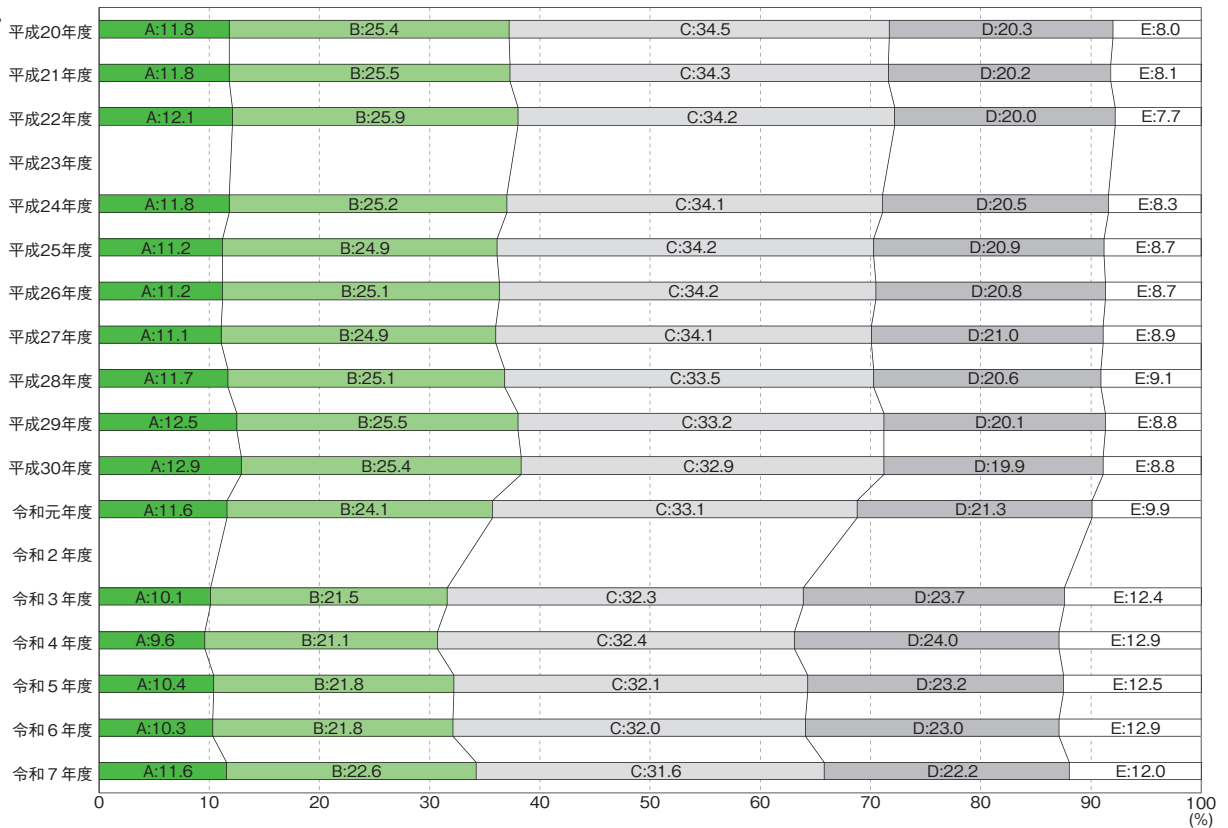
〈体力合計点の経年変化〉



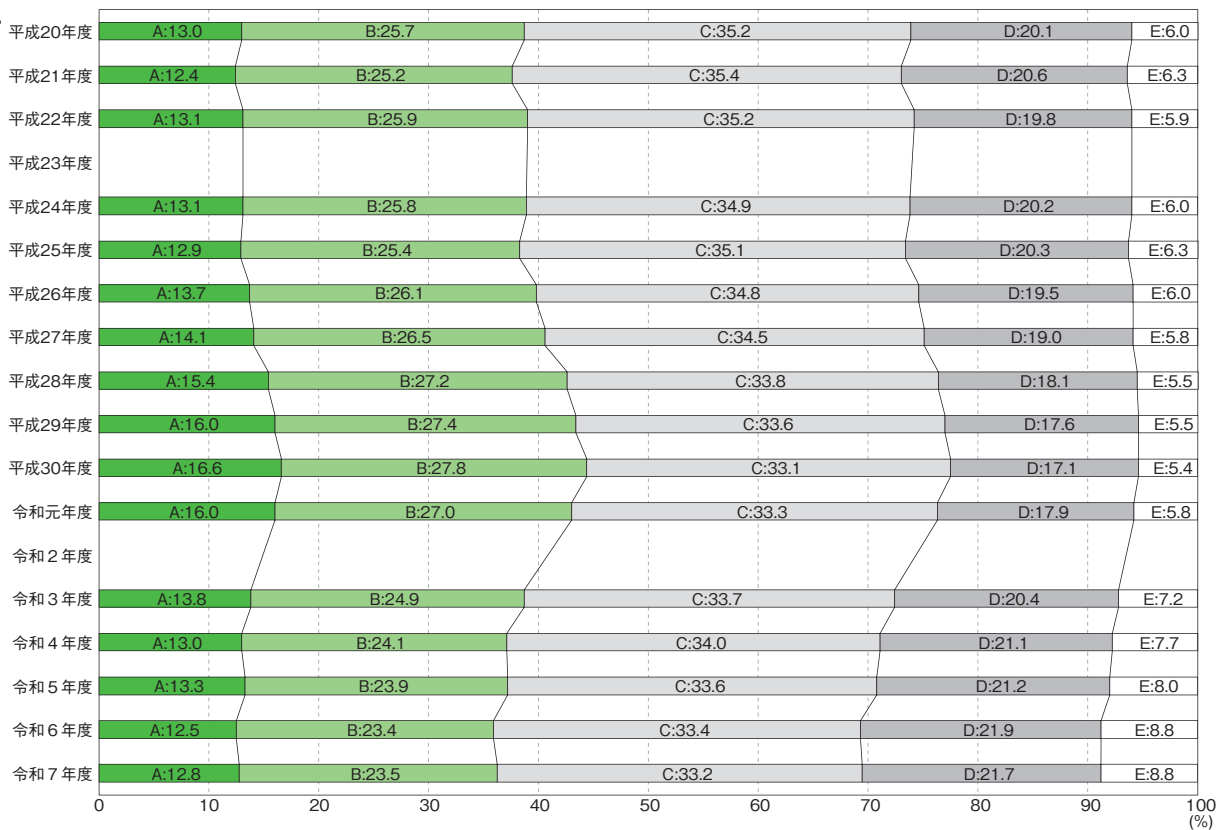
〈総合評価（段階別）の経年変化〉

総合評価A+B+C（割合）は、令和6年度に比べ、男子は1.7ポイント、女子は0.2ポイント増加した。

●男子



●女子



1-2 実技結果と経年変化（国・公・私立学校）【中学校】

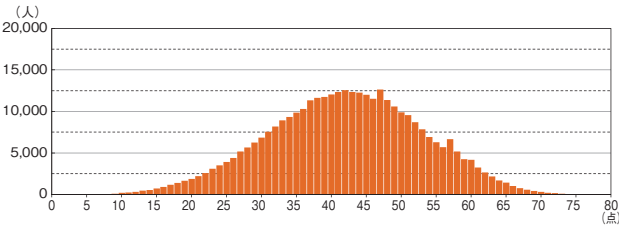
〈実技結果〉

令和7年度調査の体力合計点の平均値は男子が42.06点、女子が47.46点であった。なお、各種目の実技結果の分布及び平均値と総合評価の段階別の割合は次のとおりである。

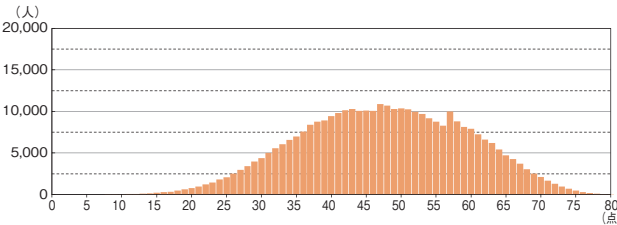
〈体力合計点〉

※得点基準は男女により異なる。

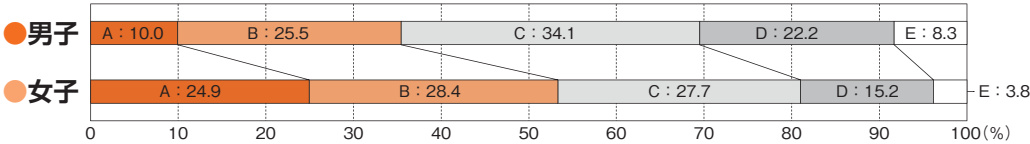
●男子	標本数	平均値	標準偏差
	351,544人	42.06点	10.95



●女子	標本数	平均値	標準偏差
	346,748人	47.46点	11.85

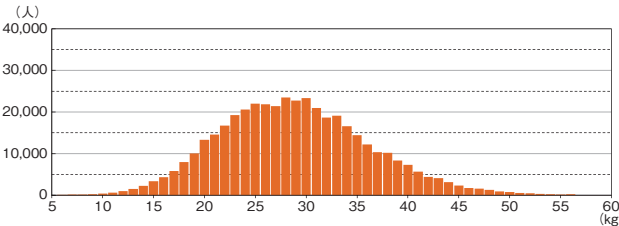


〈総合評価・段階別〉

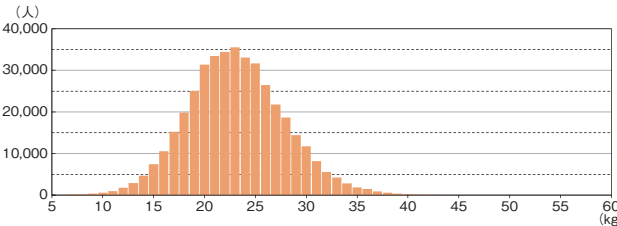


握力

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	422,972人	28.91kg	7.36

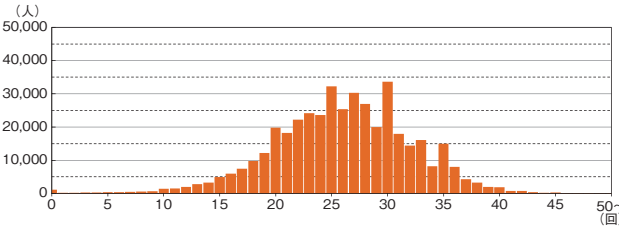


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	408,780人	23.12kg	4.77

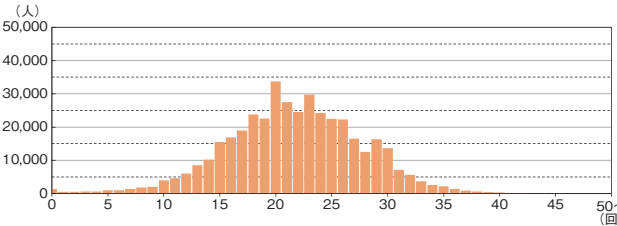


上体起こし

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	426,588人	25.99回	6.29

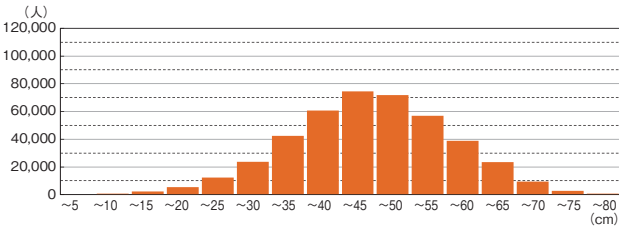


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	411,074人	21.62回	6.11

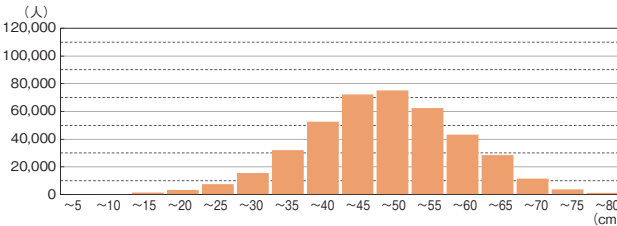


長座体前屈

●男子	標本数	平均値	標準偏差
	425,609人	44.98cm	11.40

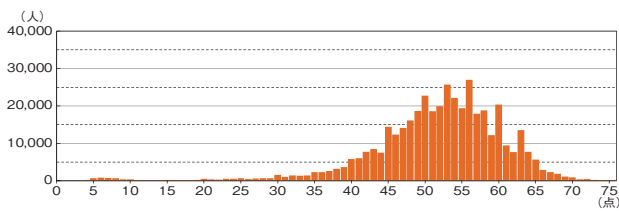


●女子	標本数	平均値	標準偏差
	411,174人	46.97cm	11.00

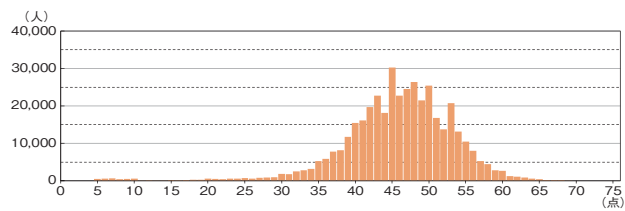


反復横とび

男子	標本数	平均値	標準偏差
	422,537人	51.63点	9.32

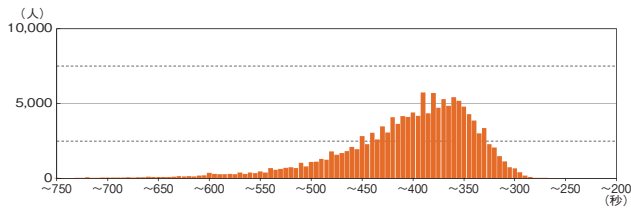


女子	標本数	平均値	標準偏差
	408,238人	45.77点	7.82

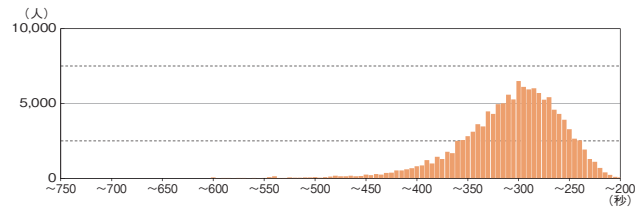


持久走 (男子1500m、女子1000m)

男子	標本数	平均値	標準偏差
	140,648人	410.24秒	72.75

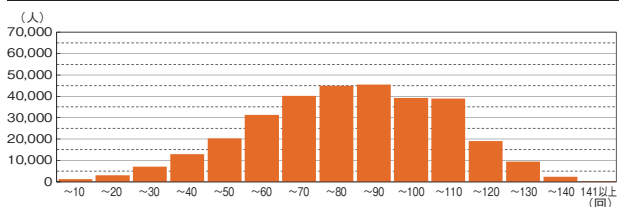


女子	標本数	平均値	標準偏差
	132,471人	310.35秒	52.03

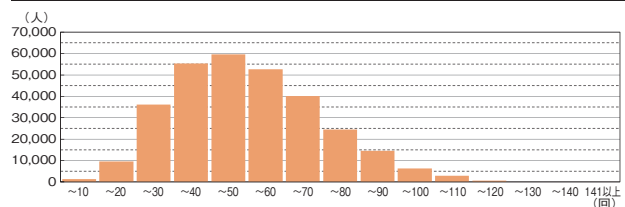


20mシャトルラン

男子	標本数	平均値	標準偏差
	316,063人	78.59回	25.48

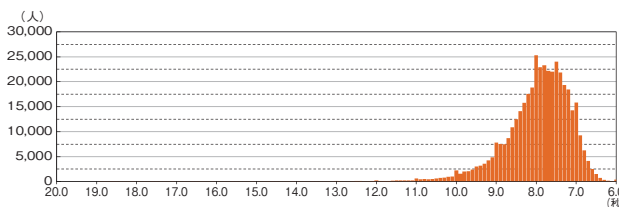


女子	標本数	平均値	標準偏差
	303,477人	50.44回	19.60

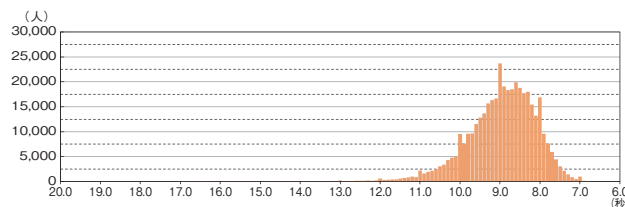


50m走

男子	標本数	平均値	標準偏差
	416,337人	8.00秒	0.94

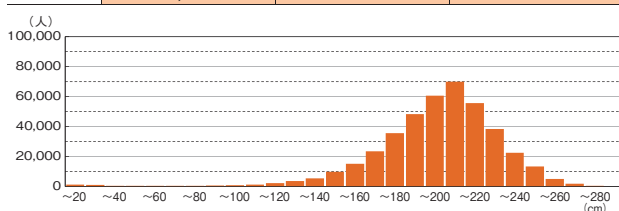


女子	標本数	平均値	標準偏差
	399,616人	8.97秒	0.91

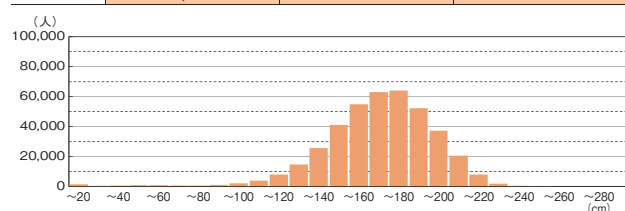


立ち幅とび

男子	標本数	平均値	標準偏差
	418,657人	197.50cm	32.45

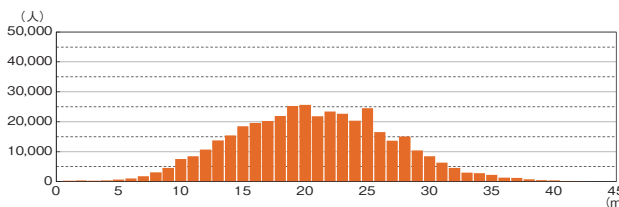


女子	標本数	平均値	標準偏差
	404,069人	166.39cm	28.38

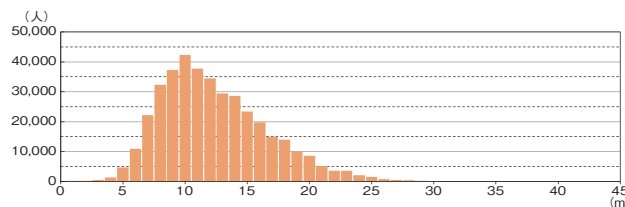


ハンドボール投げ

男子	標本数	平均値	標準偏差
	400,512人	20.66m	6.32



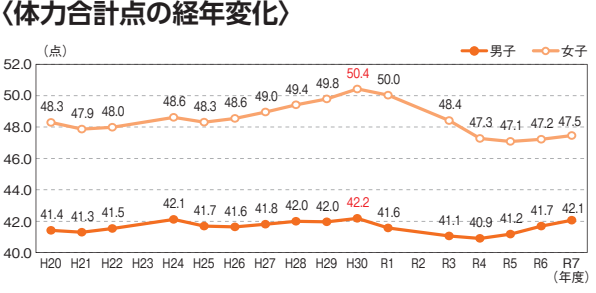
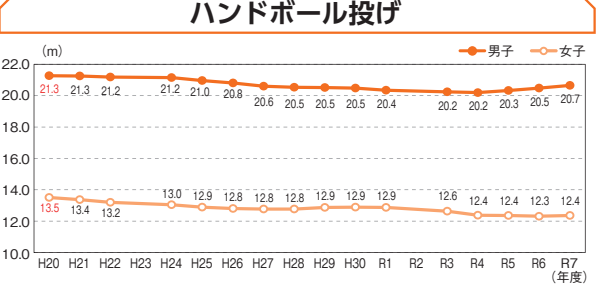
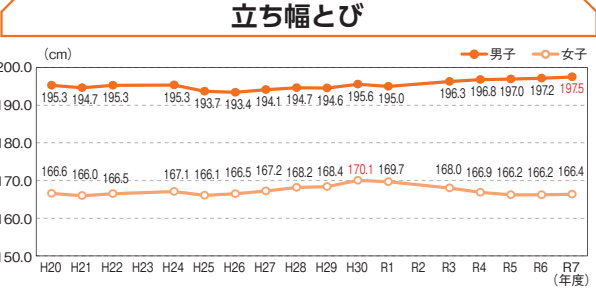
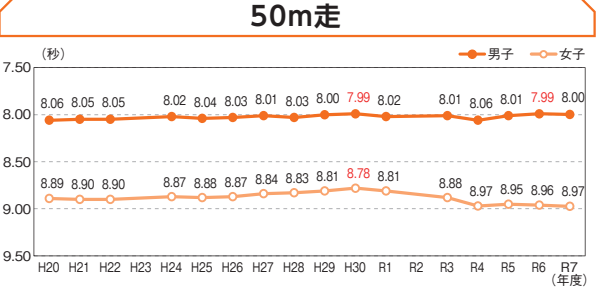
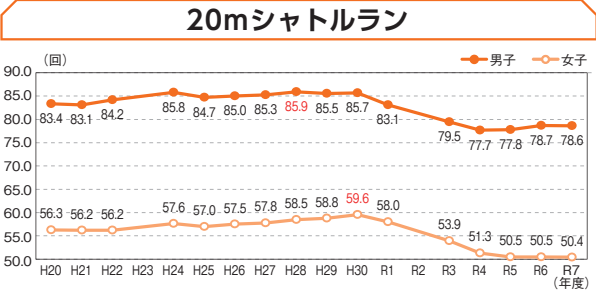
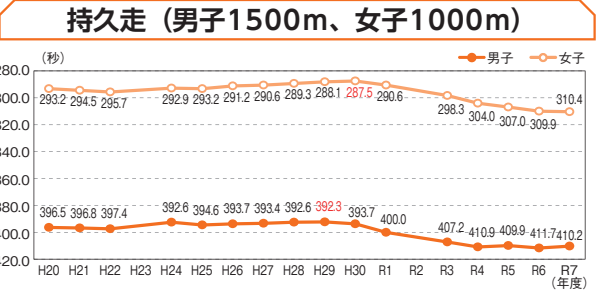
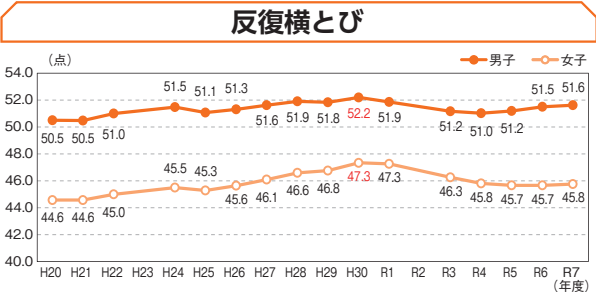
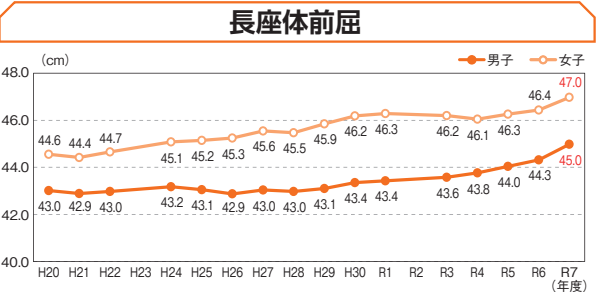
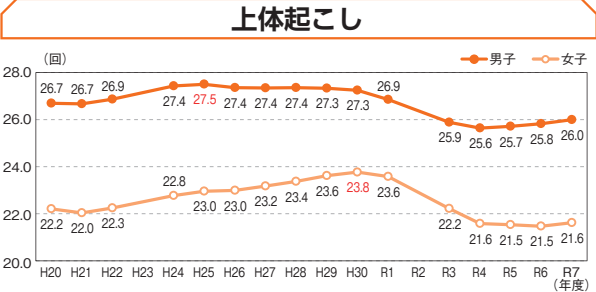
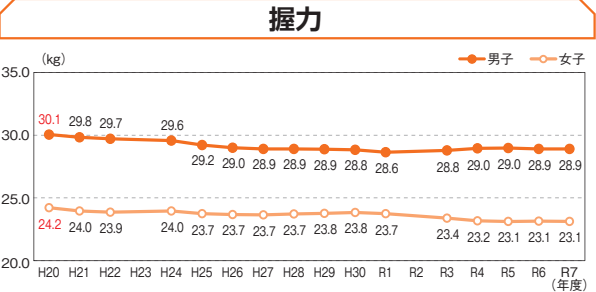
女子	標本数	平均値	標準偏差
	391,668人	12.36m	4.31



〈各種目の経年変化〉

種目別に見ると、令和6年度に比べ、男女ともに「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」は向上した。「20mシャトルラン」「50m走」は男女ともにやや低下した。「握力」は、男女ともに横ばいだった。また、体力合計点については、男子は0.4点、女子は0.3点の増加となった。

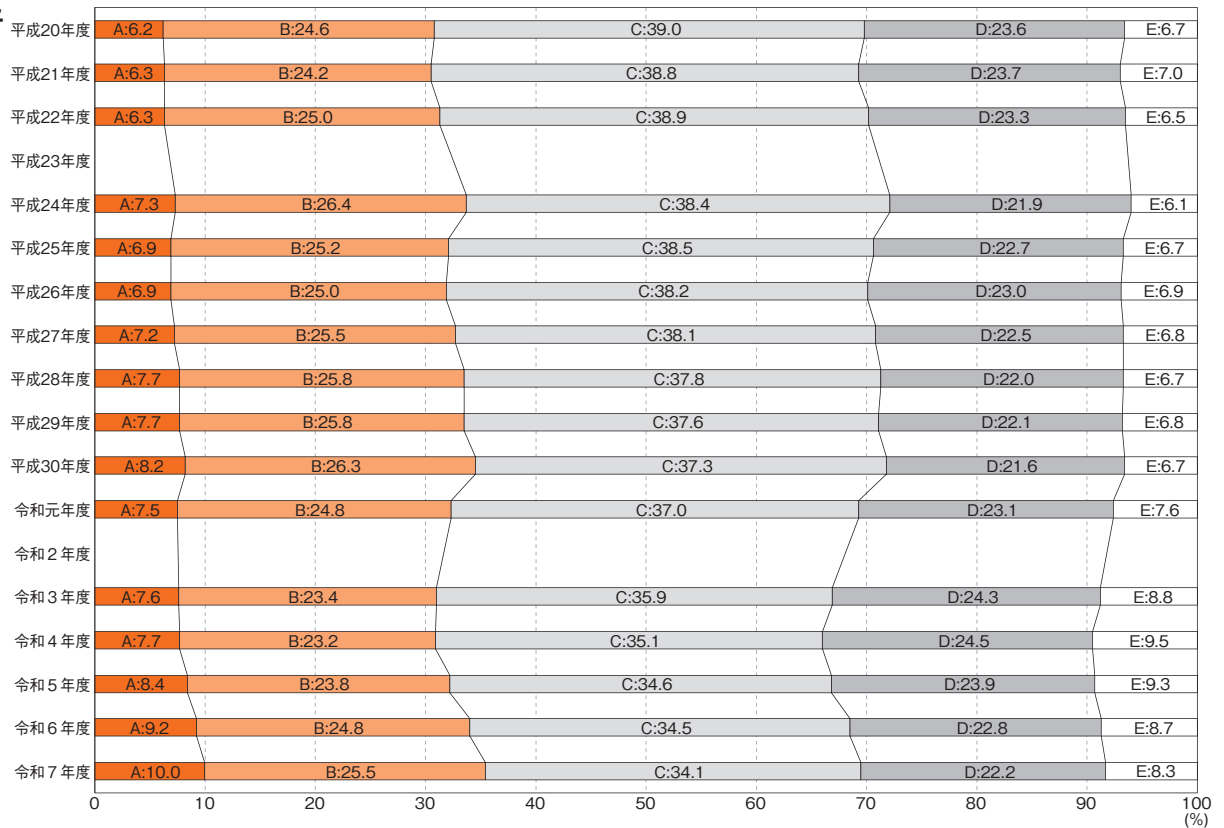
※赤い数値は最高値（小数第2位までの比較）



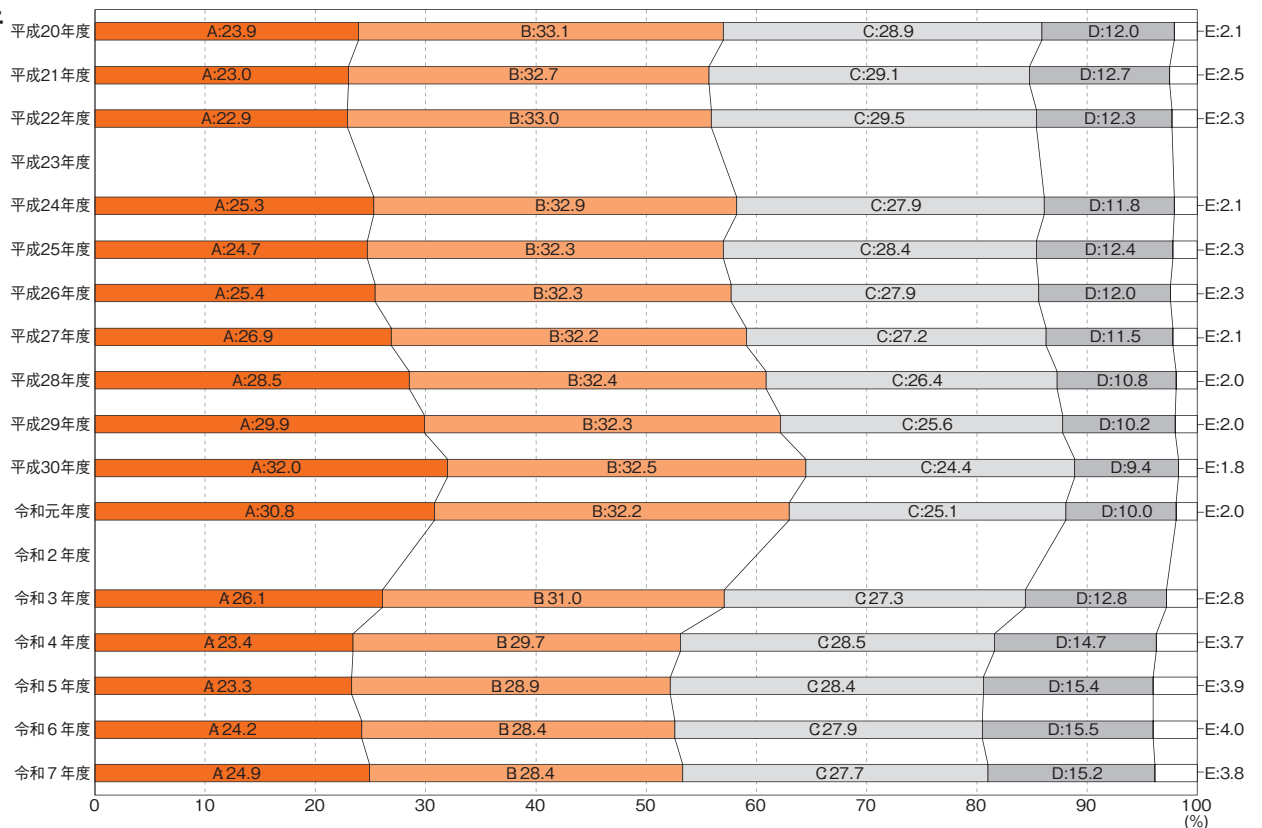
〈総合評価（段階別）の経年変化〉

総合評価A+B+C（割合）は、令和6年度に比べ、男子は1.1ポイント、女子は0.5ポイント増加した。

●男子



●女子



※ 1 週間の総運動時間の算出方法については、P.6 を参照のこと。

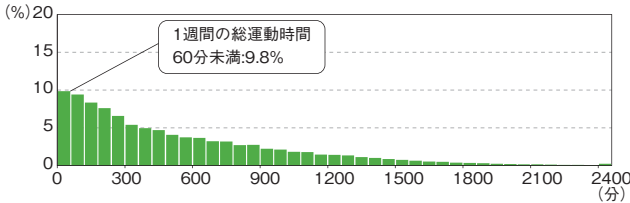
2 1 週間の総運動時間と体力・運動能力

2-1 1 週間の総運動時間の分布・内訳・体力合計点との関連【小学校】

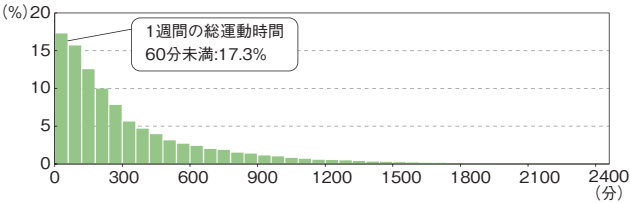
体育の授業を除く1週間の総運動時間は、60分未満の割合は男子9.8%、女子17.3%であった。また、1週間で420分以上運動している児童の割合は令和6年度に比べ、男子は2.5ポイント、女子は2.0ポイント減少した。

〈1〉1 週間の総運動時間の分布

●男子

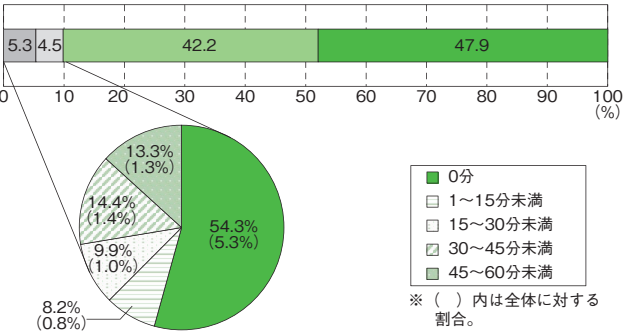


●女子

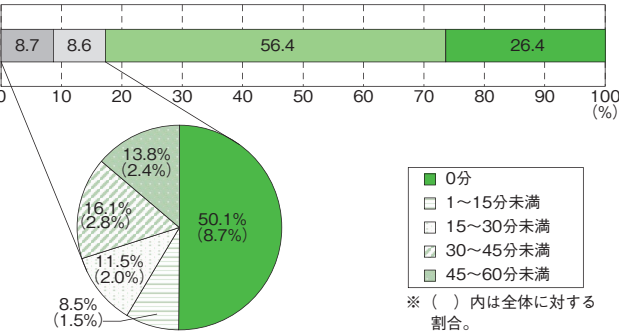


〈2〉1 週間の総運動時間別の児童の割合

●男子

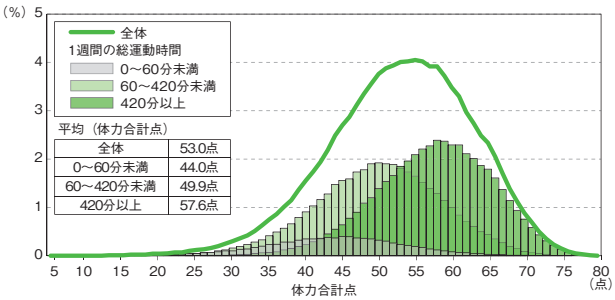


●女子

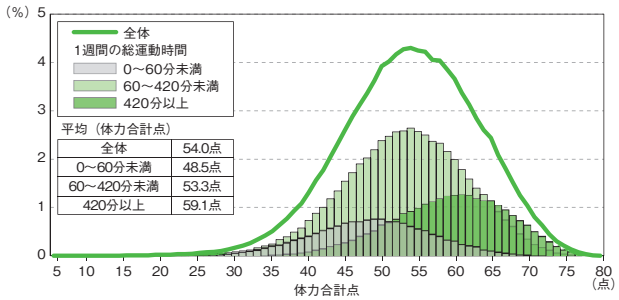


〈3〉1 週間の総運動時間と体力合計点との関連

●男子

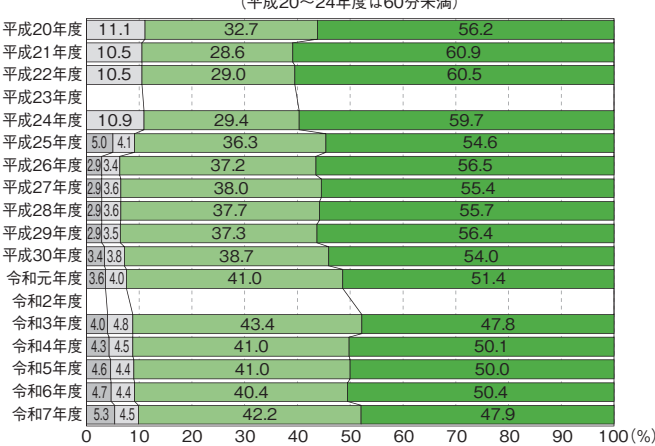


●女子

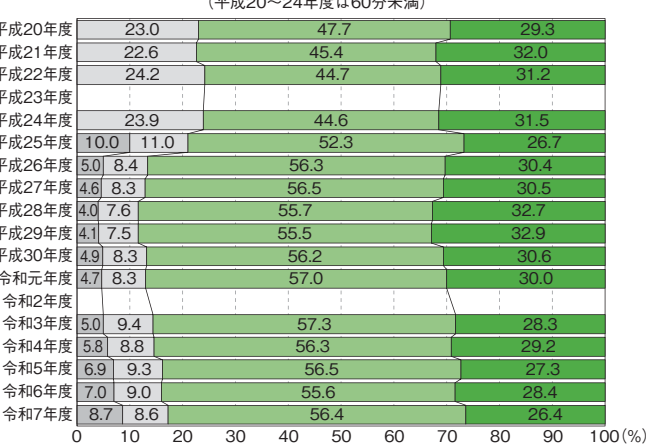


〈4〉1 週間の総運動時間の経年変化

●男子



●女子

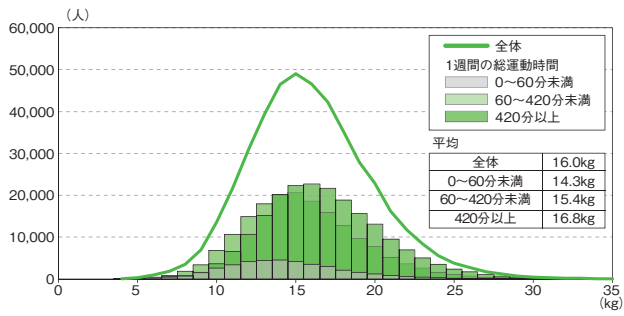


※平成20～24年度は、旧算出基準(P.6参照)による。
平成25年度以降は、各曜日の運動時間の合計。

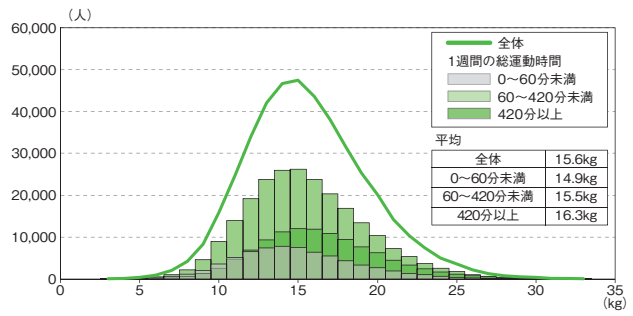
〈5〉1週間の総運動時間と各種目の関連

握力

●男子

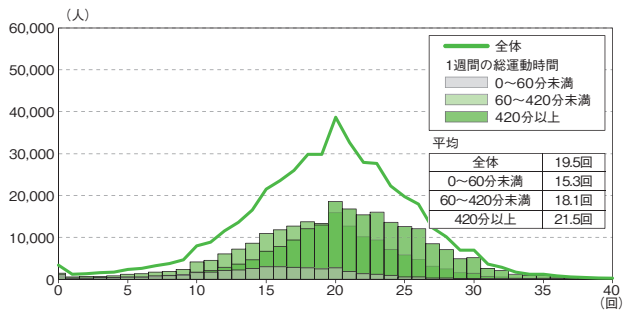


●女子

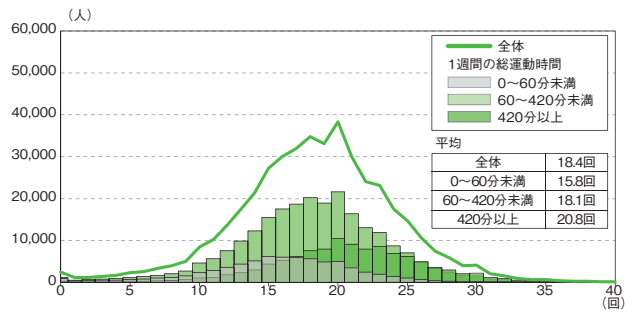


上体起こし

●男子

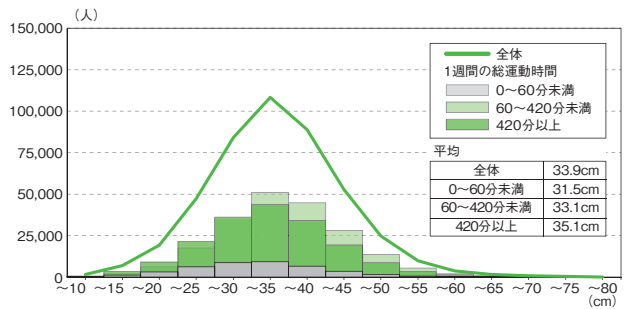


●女子

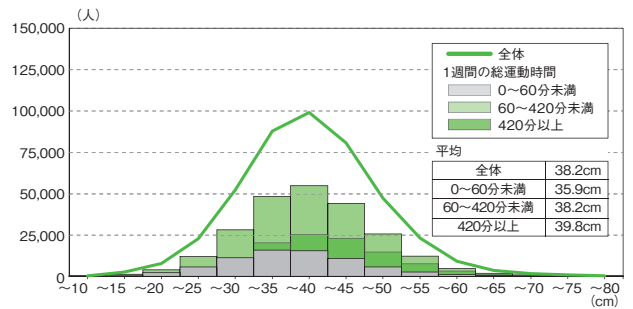


長座体前屈

●男子

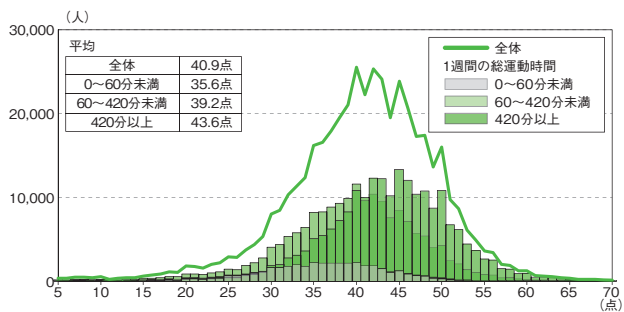


●女子

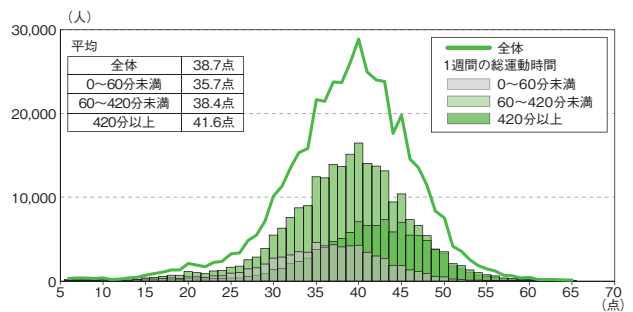


反復横とび

●男子

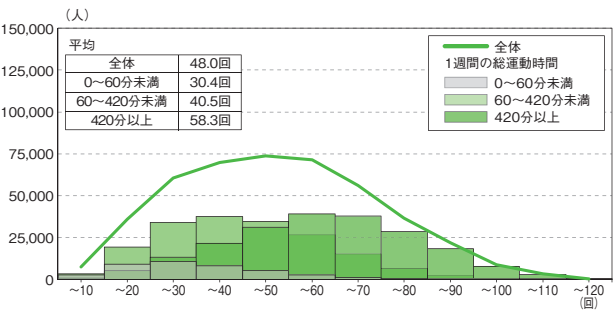


●女子

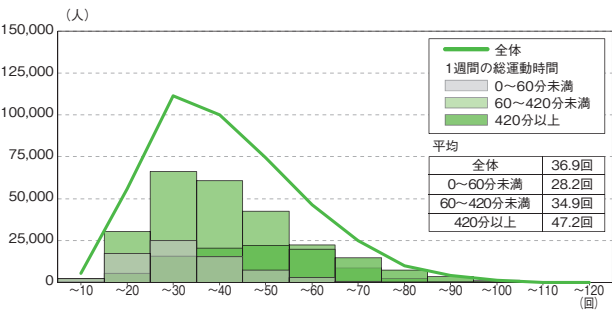


20m シャトルラン

●男子

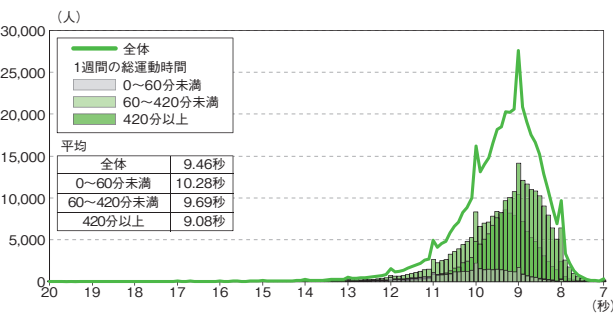


●女子

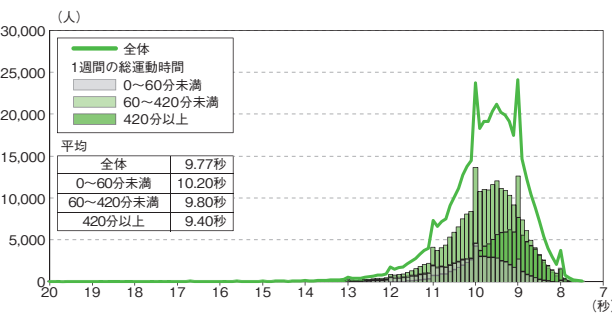


50m 走

●男子

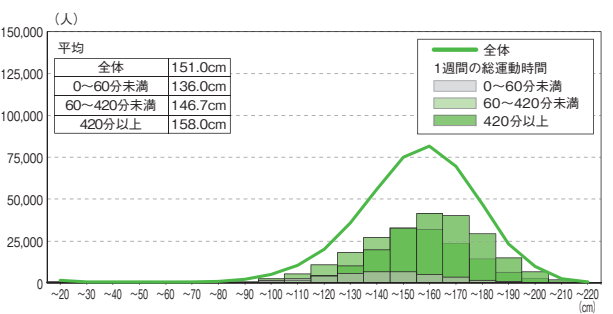


●女子

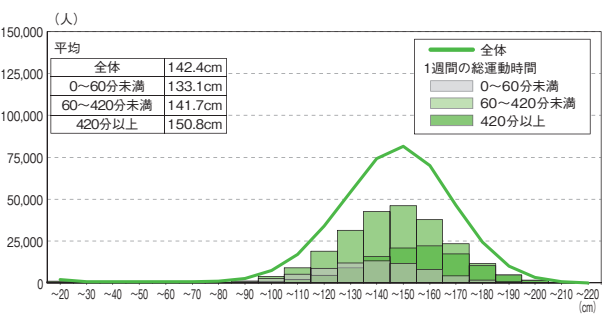


立ち幅とび

●男子

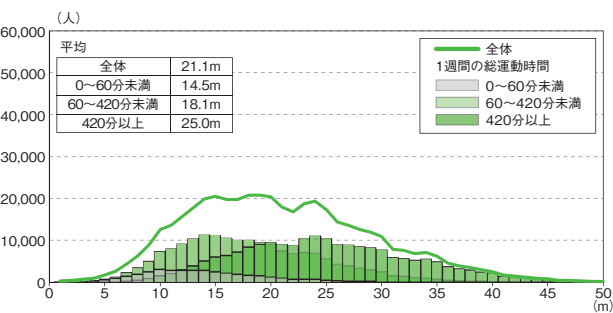


●女子

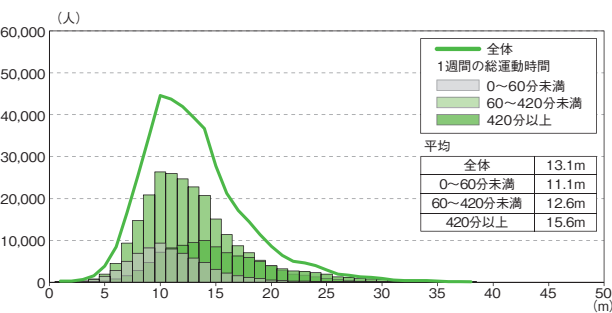


ソフトボール投げ

●男子



●女子



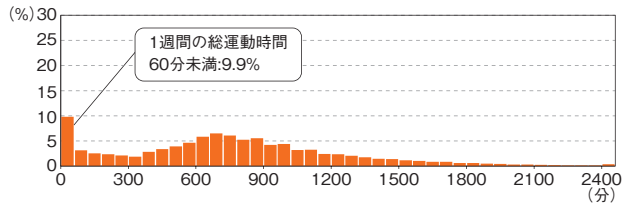
※1週間の総運動時間の算出方法については、P.6を参照のこと。

2-2 1週間の総運動時間の分布・内訳・体力合計点との関連【中学校】

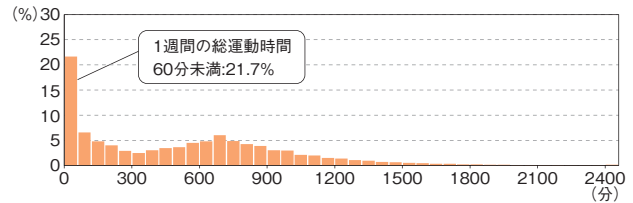
保健体育の授業を除く1週間の総運動時間は、60分未満の割合は男子9.9%、女子21.7%であった。また、1週間で420分以上運動している生徒の割合は令和6年度に比べ、男子は0.8ポイント、女子は0.4ポイント減少した。

〈1〉1週間の総運動時間の分布

●男子

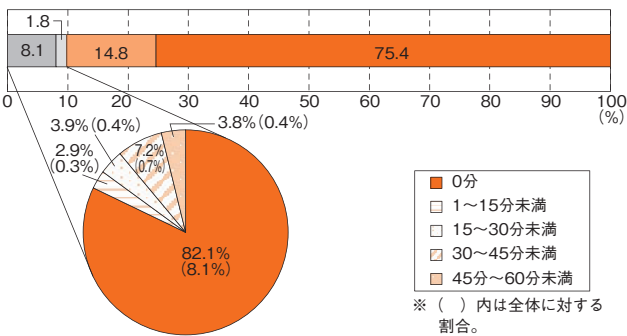


●女子

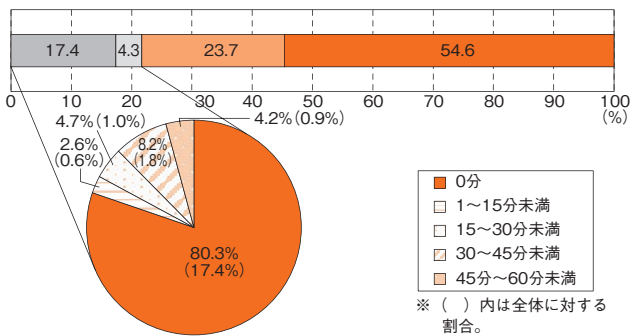


〈2〉1週間の総運動時間別の生徒の割合

●男子

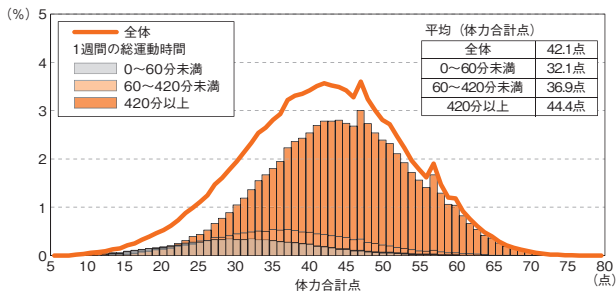


●女子

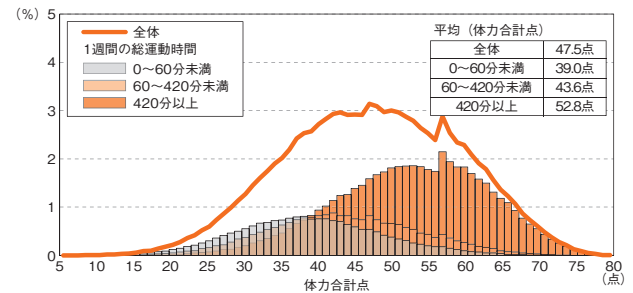


〈3〉1週間の総運動時間と体力合計点との関連

●男子



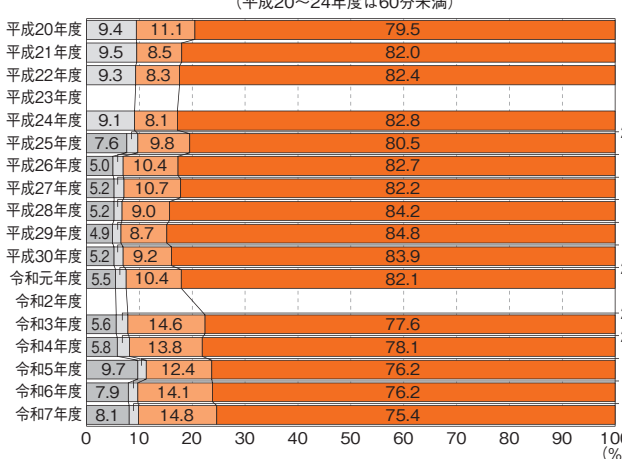
●女子



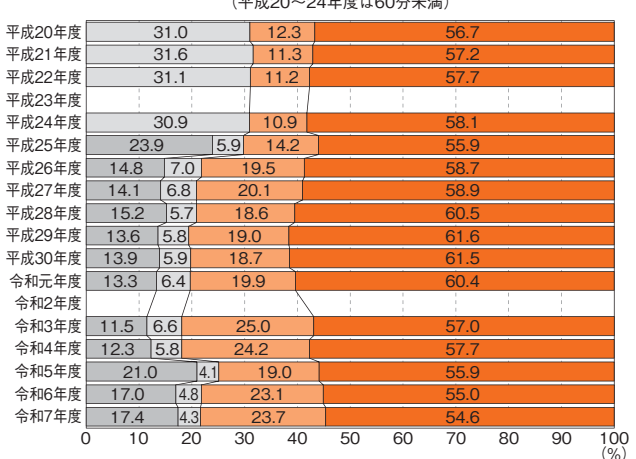
〈4〉1週間の総運動時間の経年変化

※平成20～24年度は、旧算出基準 (P.6参照) による。
平成25年度以降は、各曜日の運動時間の合計。

●男子



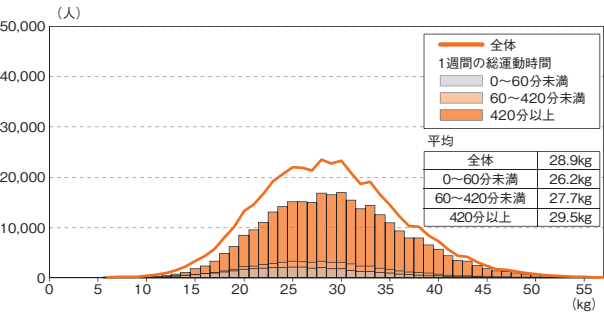
●女子



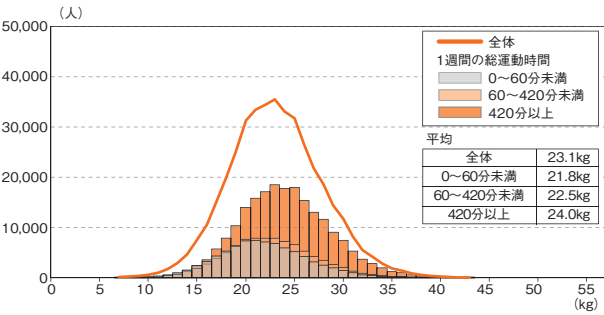
〈5〉1週間の総運動時間と各種目の関連

握力

●男子

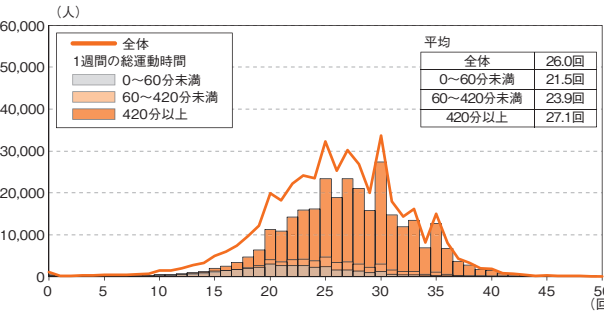


●女子

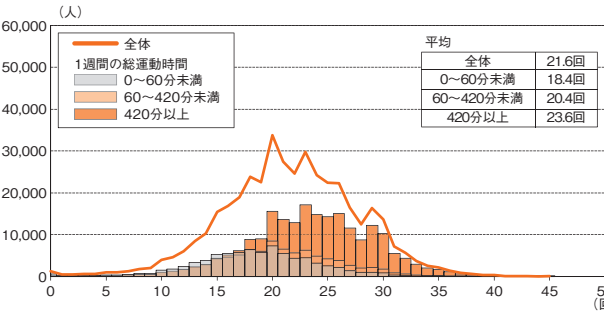


上体起こし

●男子

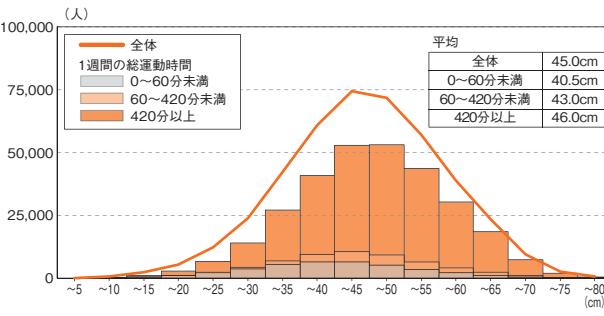


●女子

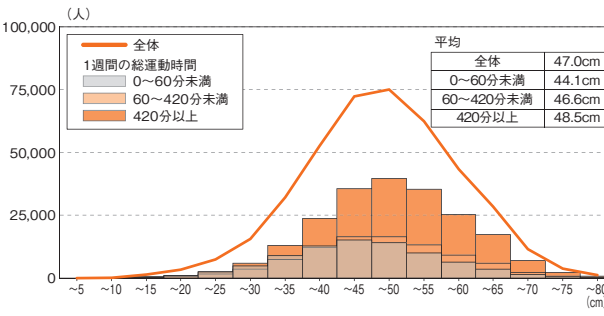


長座体前屈

●男子

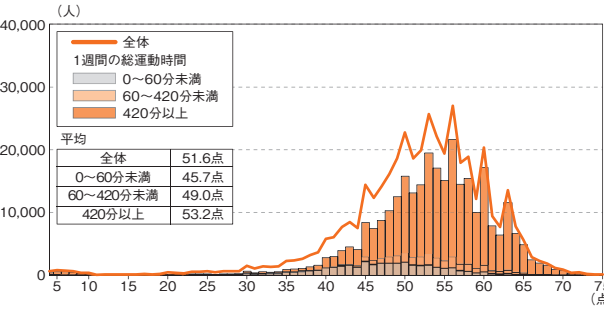


●女子

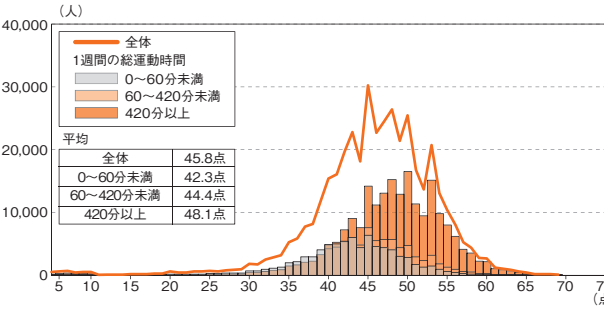


反復横とび

●男子

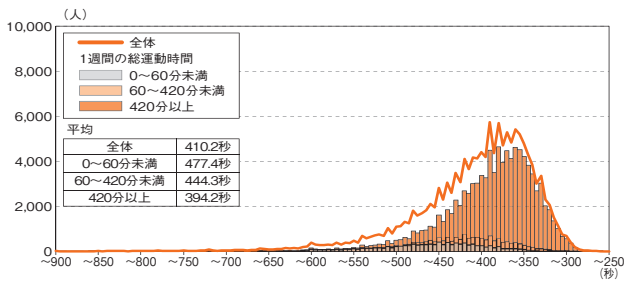


●女子

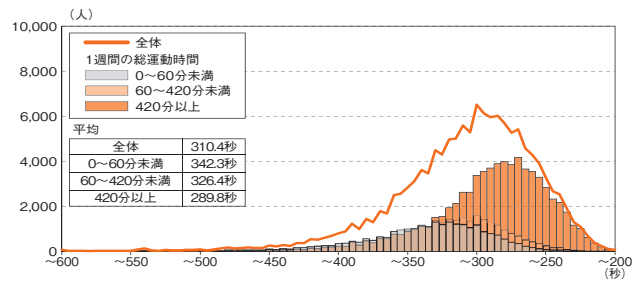


持久走 (男子1500m、女子1000m)

●男子

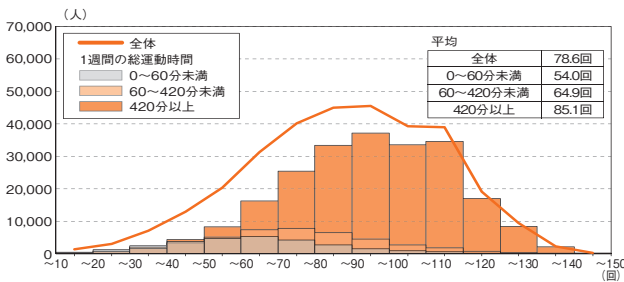


●女子

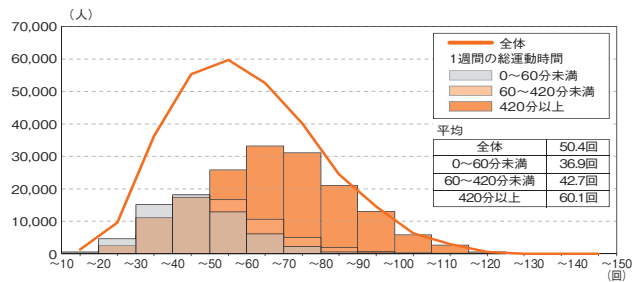


20m シャトルラン

●男子

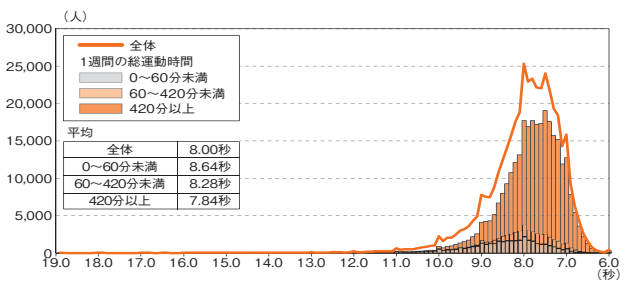


●女子

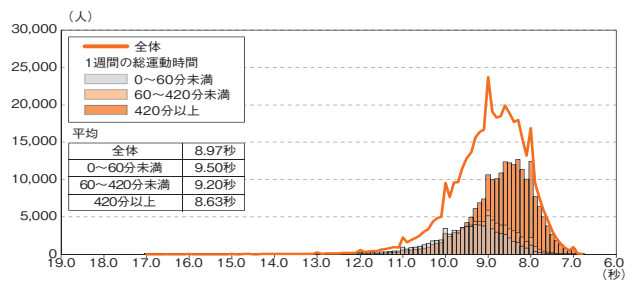


50m 走

●男子

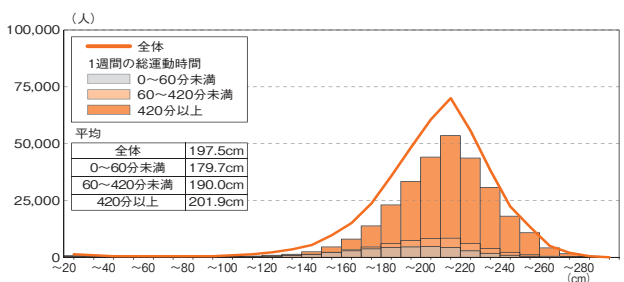


●女子

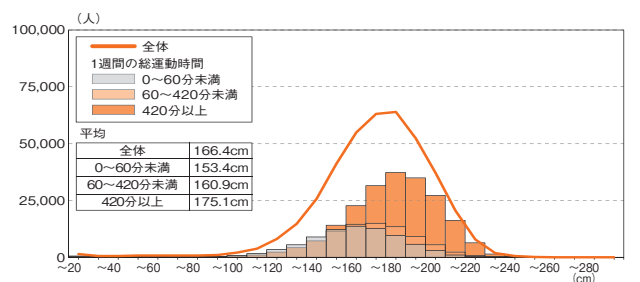


立ち幅とび

●男子

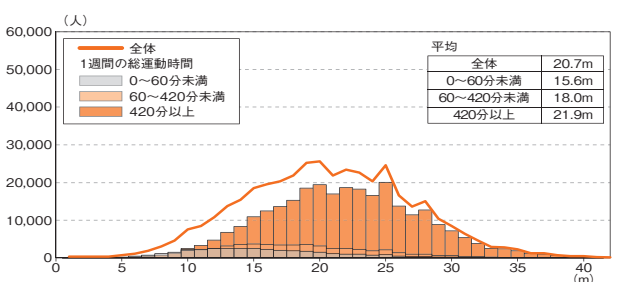


●女子

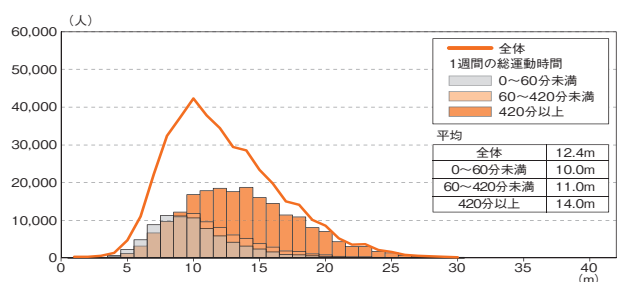


ハンドボール投げ

●男子



●女子

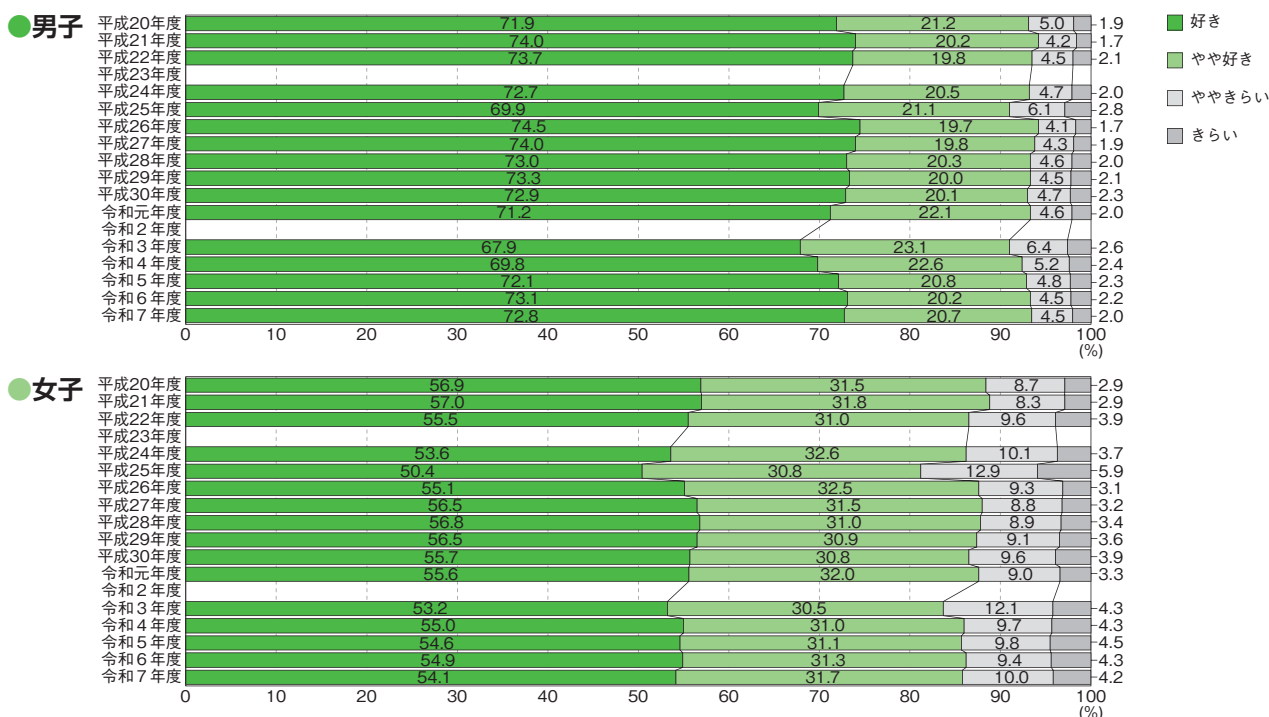


3 運動やスポーツに対する意識

3-1 運動やスポーツの好き・嫌い【小学校】

運動やスポーツをすることは「好き」「やや好き」と回答した児童の割合は、令和6年度に比べ、男子は0.2ポイント増加、女子は0.4ポイント減少した。

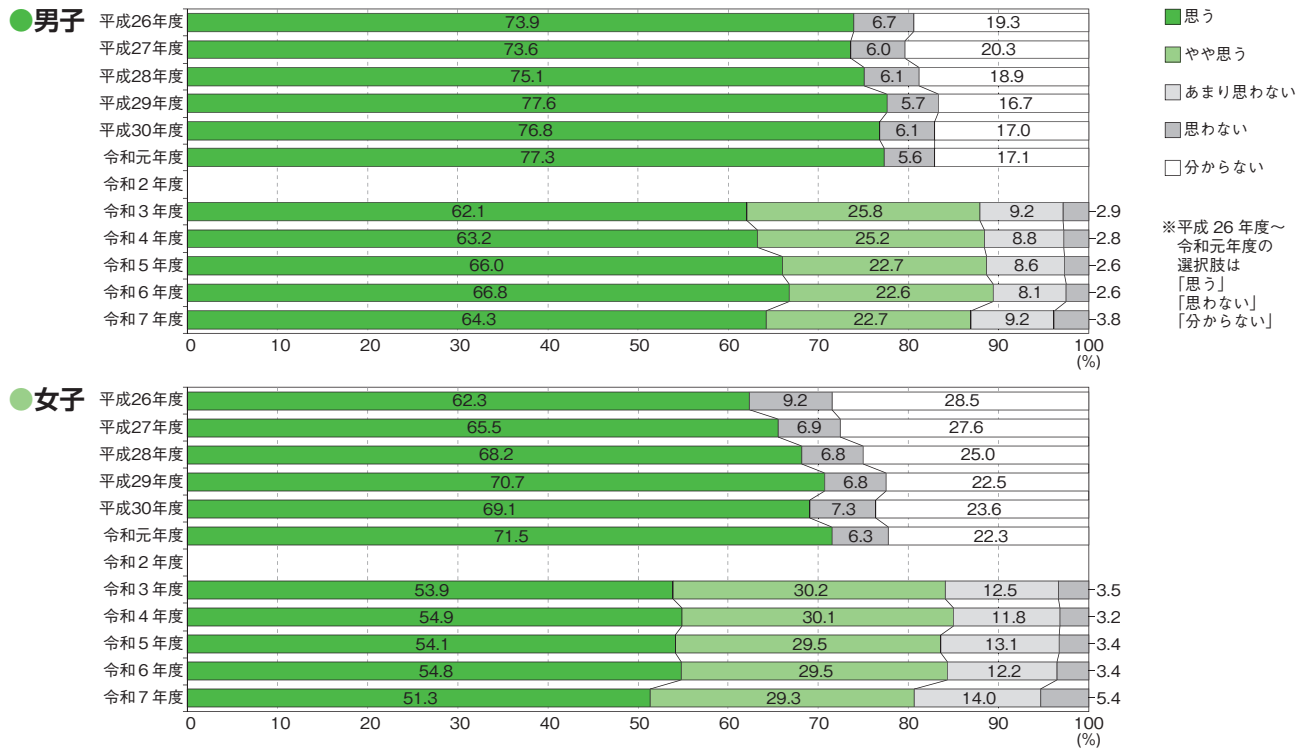
〔「運動やスポーツをすることが好き・嫌い」の経年変化〕



3-3 卒業後の運動への意欲【小学校】

卒業しても運動する時間を持ちたいと「思う」「やや思う」と回答した児童の割合は、令和6年度に比べ、男子は2.4ポイント、女子は3.7ポイント減少した。

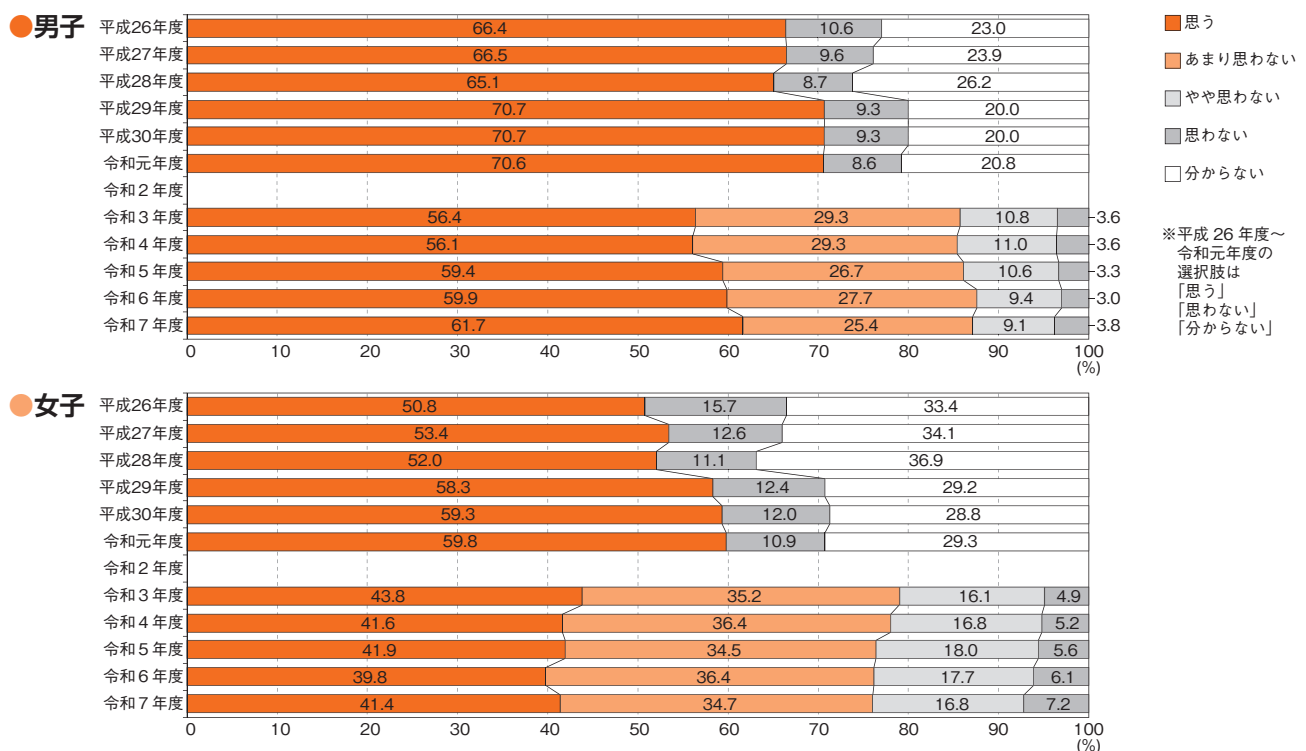
〔「卒業しても運動する時間を持ちたいと思う」の経年変化〕



3-4 卒業後の運動への意欲【中学校】

卒業しても運動する時間を持ちたいと「思う」「やや思う」と回答した生徒の割合は、令和6年度に比べ、男子は0.5ポイント、女子は0.1ポイント減少した。

〔「卒業しても運動する時間を持ちたいと思う」の経年変化〕

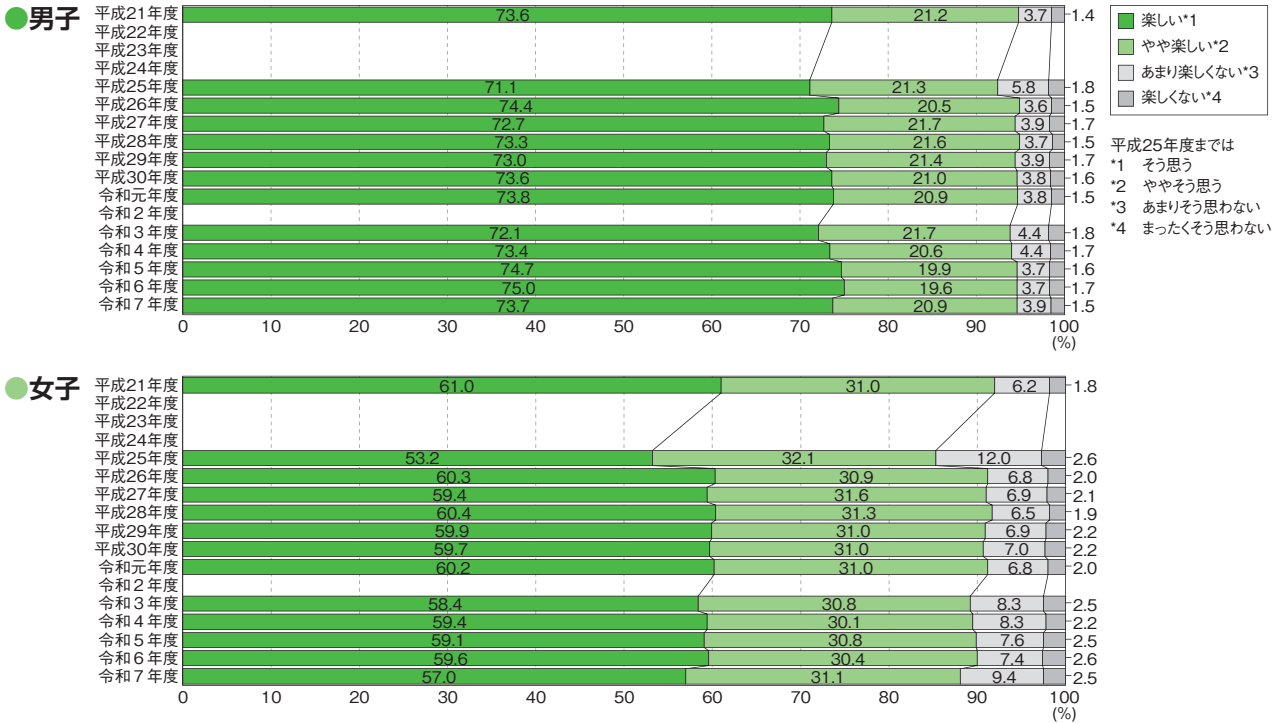


4 体育・保健体育の授業に対する意識

4-1 体育の授業は楽しい【小学校】

体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童の割合は、男子は令和6年度に比べ、横ばいだったが、90%を越えている。女子は令和6年度に比べ、1.9ポイント減少した。

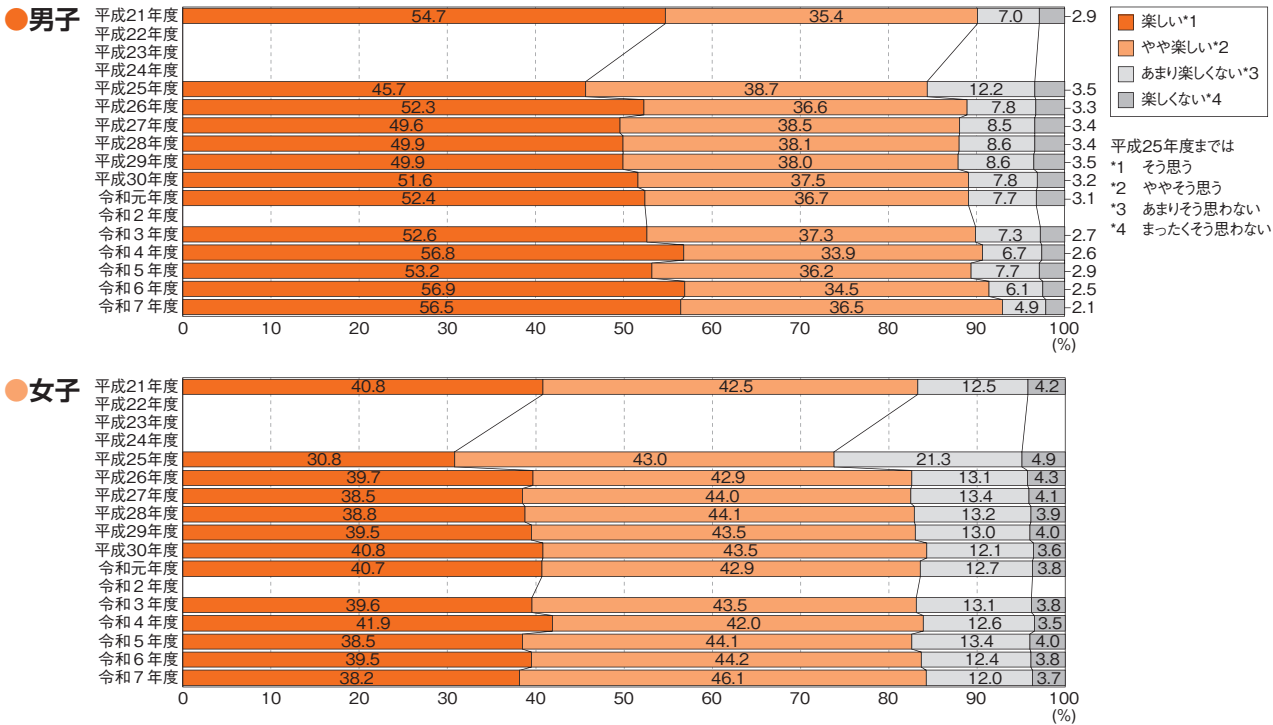
【「体育の授業は楽しい」の経年変化】 ※平成20、22、24年度は、該当する質問項目がない。



4-2 保健体育の授業は楽しい【中学校】

保健体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と回答した生徒の割合は、令和6年度に比べ、男子は1.6ポイント、女子は0.6ポイント増加した。

【「保健体育の授業は楽しい」の経年変化】 ※平成20、22、24年度は、該当する質問項目がない。



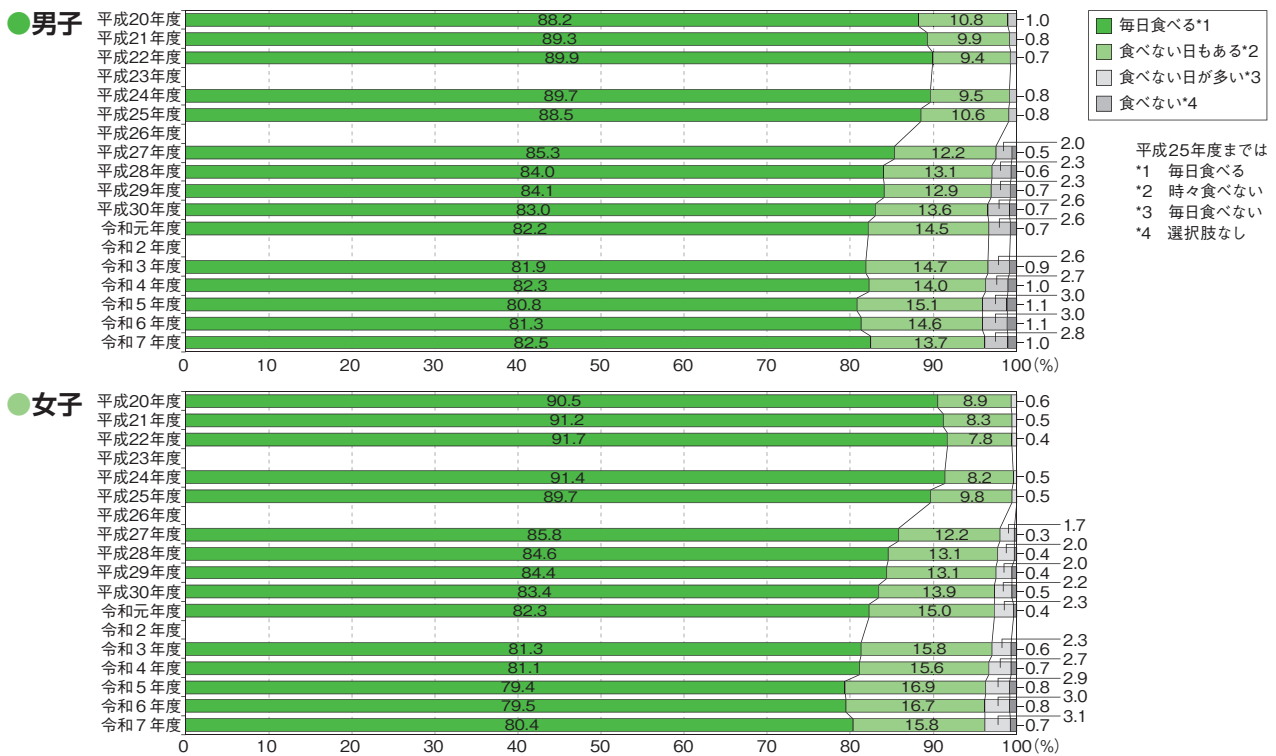
5 生活習慣と体力

5-1 食事・睡眠と体力との関連【小学校】

規則正しい生活習慣の要素である朝食の摂取状況と1日の睡眠時間の経年変化を見ると、朝食に関しては「毎日食べる」と回答した児童の割合は、令和6年度に比べ、男子は1.2ポイント、女子は0.9ポイント増加した。睡眠時間に関しては8時間以上の児童の割合が、令和6年度に比べ、男子は2.5ポイント、女子は2.0ポイント増加している。また、男女ともに、朝食を「毎日食べる」グループが最も体力合計点が高い。睡眠時間との関係においては、男子では「9時間以上10時間未満」グループが最も体力合計点が高く、女子では「8時間以上9時間未満」グループが最も体力合計点が高かった。

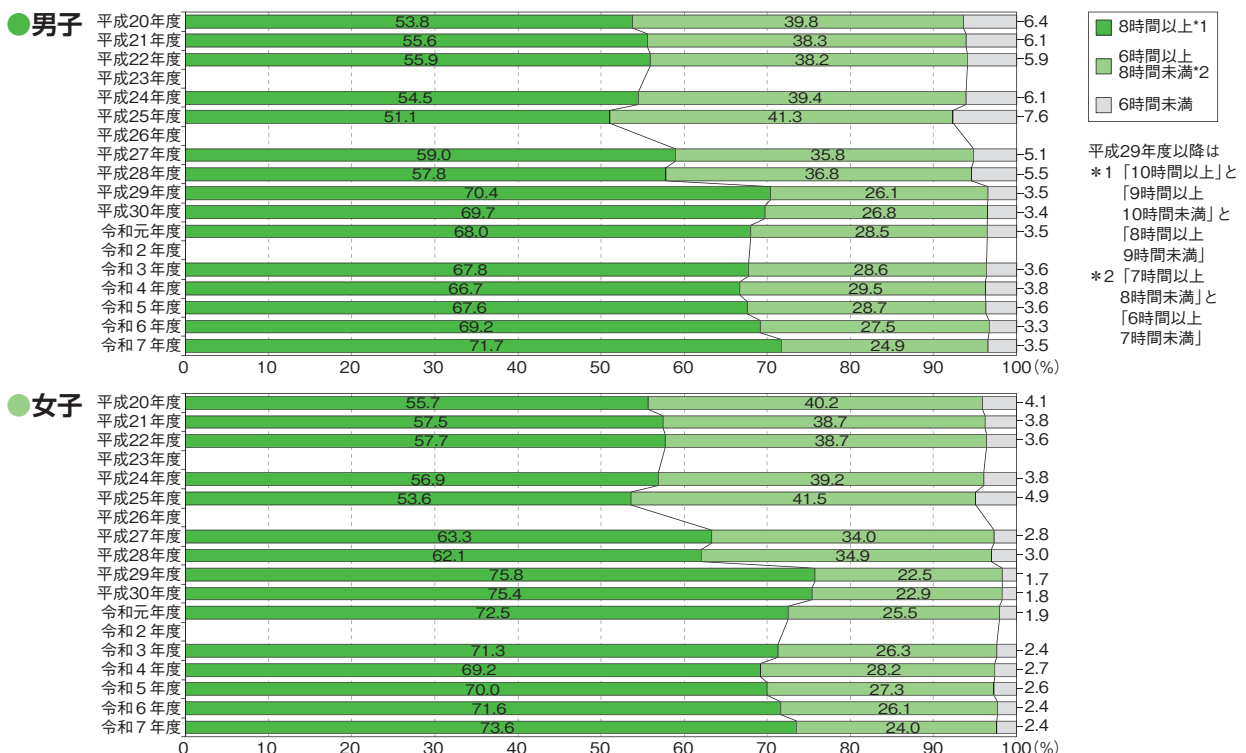
〔朝食の摂取状況の経年変化〕

※平成26年度は、該当する質問項目がない。



〔1日の睡眠時間の経年変化〕

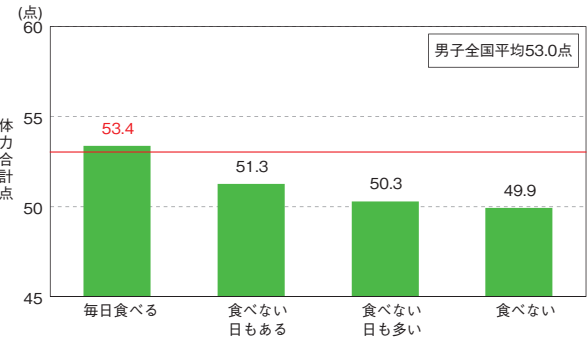
※平成26年度は、該当する質問項目がない。



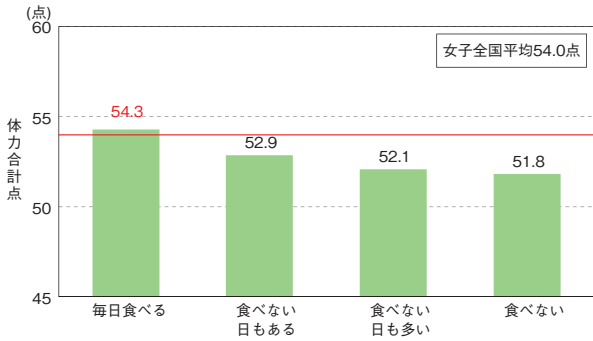
〔食事・睡眠時間と体力合計点との関連〕

朝食

●男子

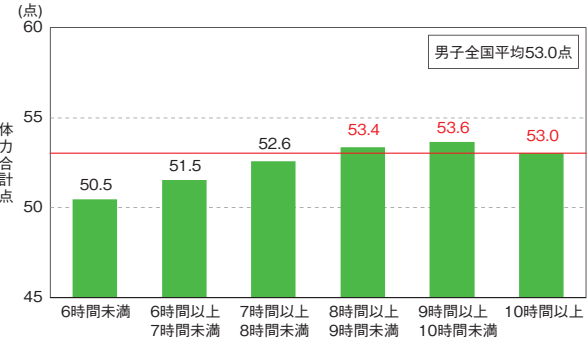


●女子

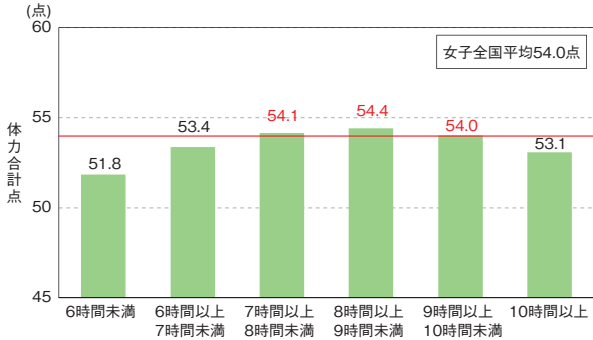


睡眠時間

●男子



●女子

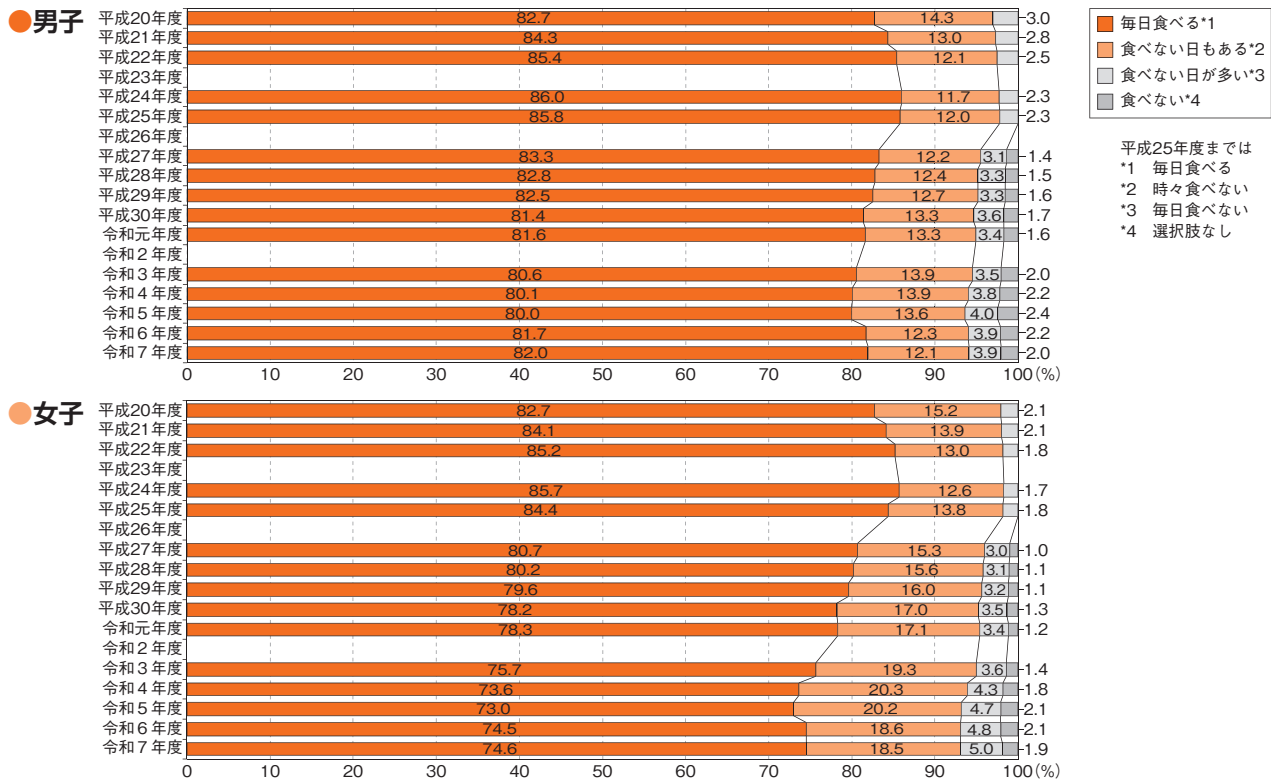


5-2 食事・睡眠と体力との関連【中学校】

規則正しい生活習慣の要素である朝食の摂取状況と1日の睡眠時間の経年変化を見ると、朝食に関しては「毎日食べる」と回答した生徒の割合は令和6年度と比べ、男子は0.3ポイント、女子は0.1ポイント増加した。睡眠時間に関しては、「8時間以上」の生徒の割合は、令和6年度と比べ、男子は2.1ポイント、女子は1.0ポイントの増加となった。また、男女ともに、朝食を「毎日食べる」グループが最も体力合計点が高く、睡眠時間との関係では「7時間以上8時間未満」のグループが最も体力合計点が高かった。

【朝食の摂取状況の経年変化】

※平成26年度は、該当する質問項目がない。



【1日の睡眠時間の経年変化】

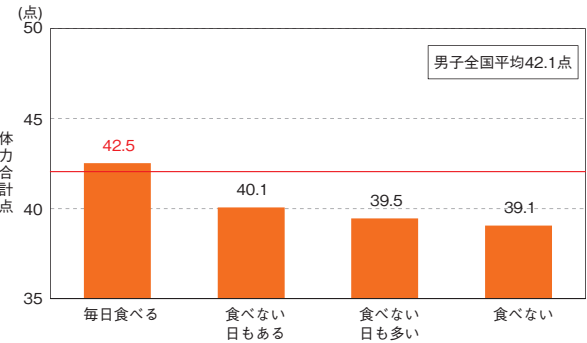
※平成26年度は、該当する質問項目がない。



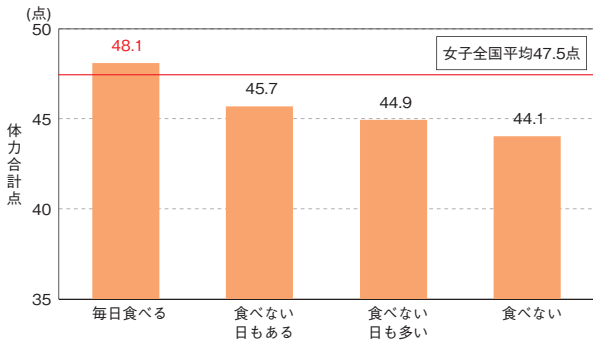
[食事・睡眠時間と体力合計点との関連]

朝食

●男子

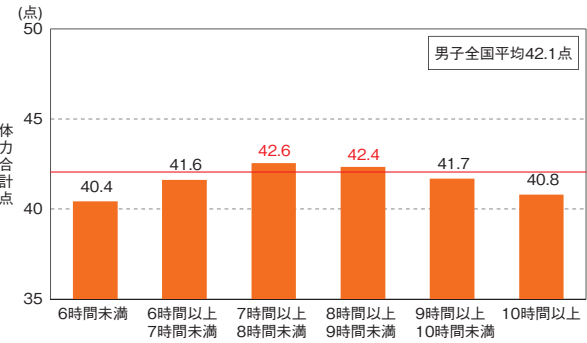


●女子

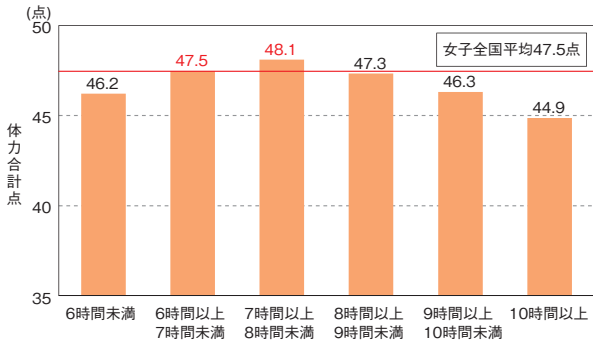


睡眠時間

●男子



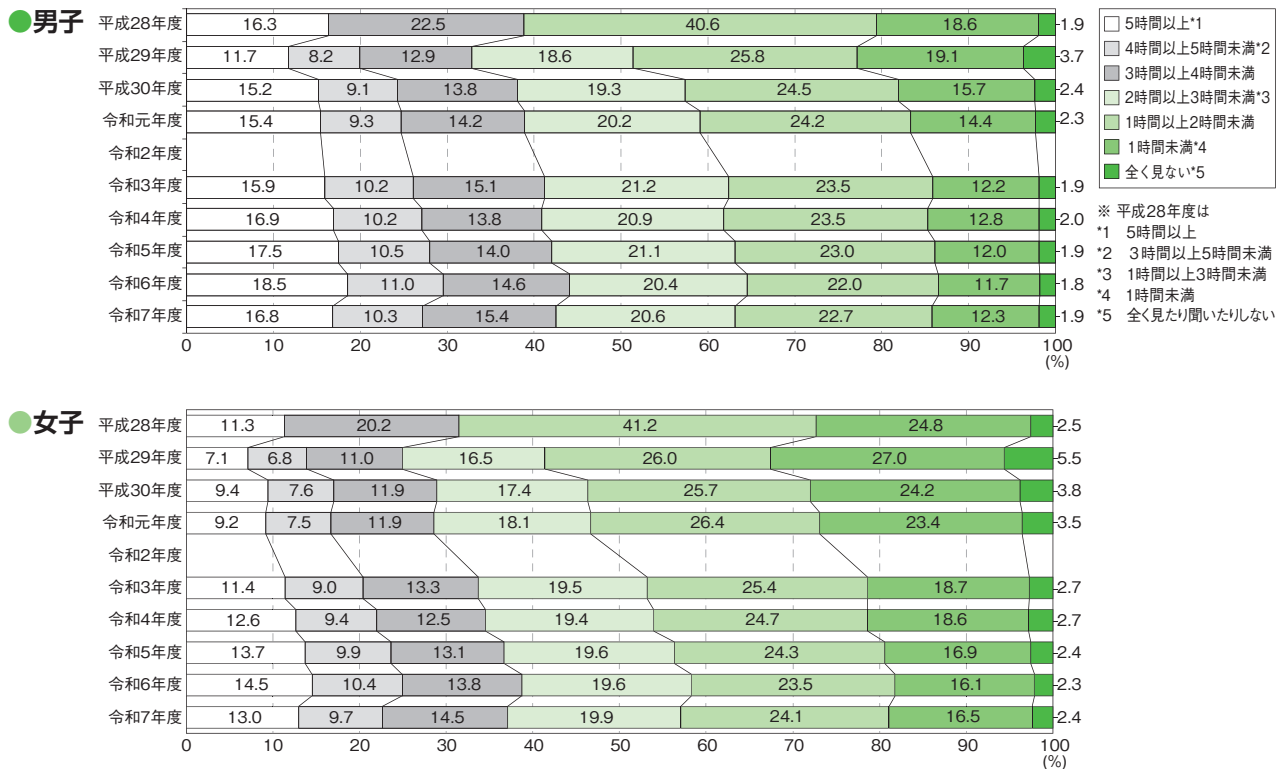
●女子



5-3 学習以外でテレビやゲームの画面を見る時間と体力との関連【小学校】

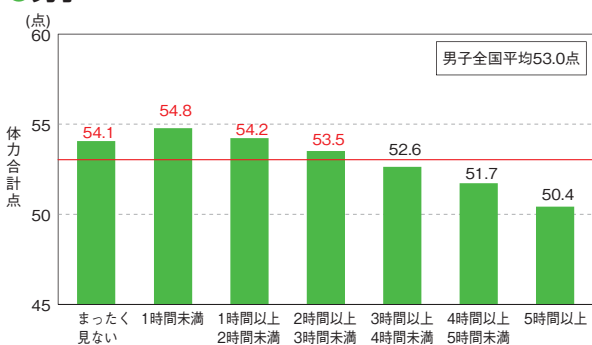
学習以外でテレビ、DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面を視聴する時間の経年変化を見ると、視聴時間が3時間以上の割合が令和6年度に比べ、男子は1.6ポイント、女子は1.5ポイント減少した。また、体力合計点を比較してみると、男女ともに、視聴時間が3時間未満のグループの体力合計点は全国の平均値より高かった。

〔学習以外でのテレビやゲームの画面を見る時間の経年変化〕

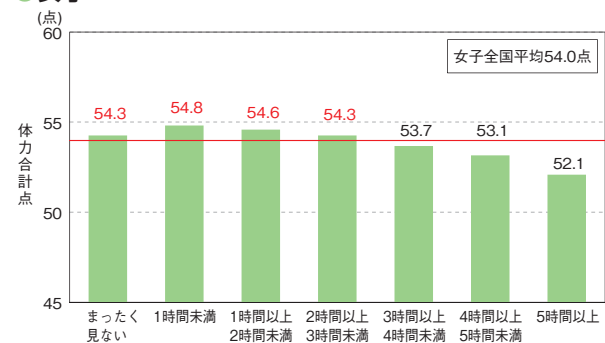


〔学習以外でのテレビやゲームの画面を見る時間と体力合計点との関連〕

●男子



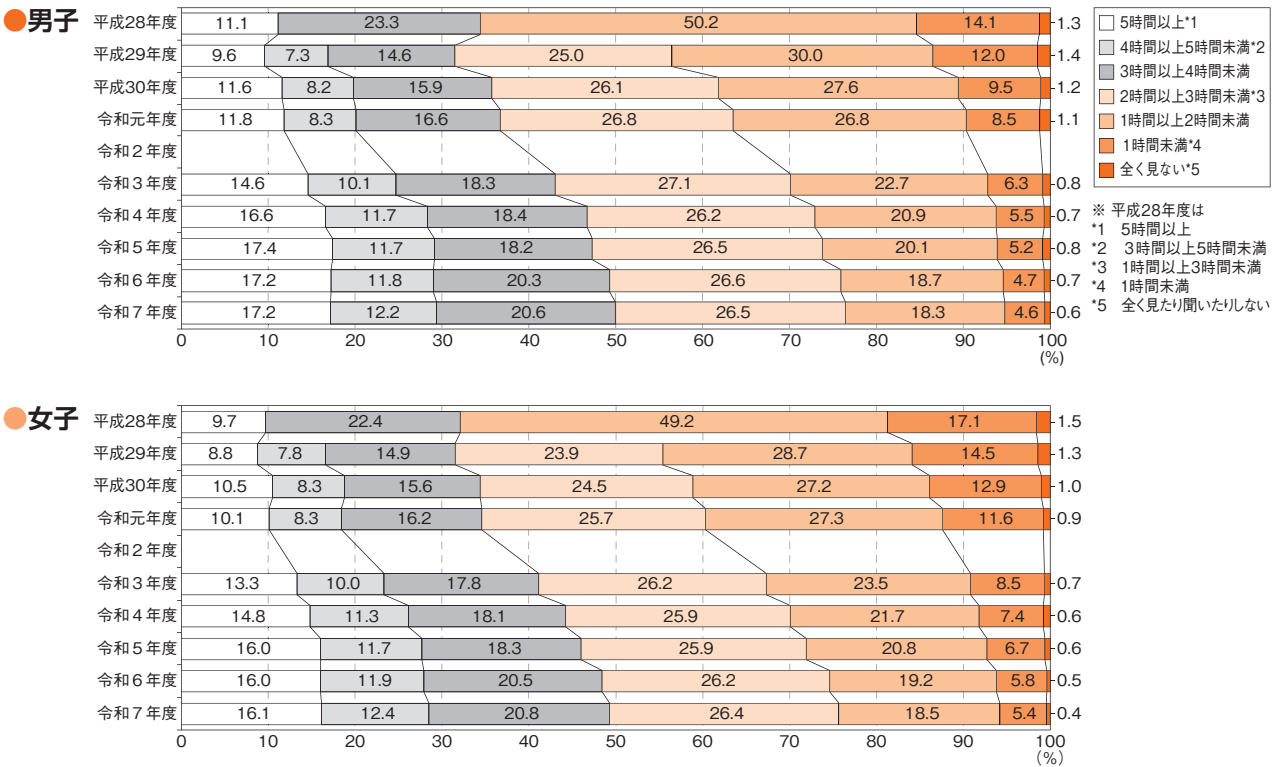
●女子



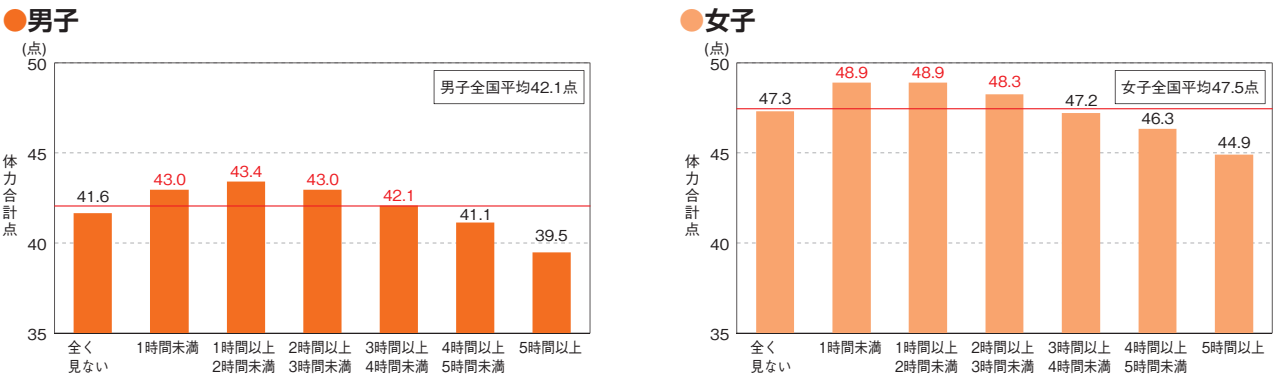
5-4 学習以外でテレビやゲームの画面を見る時間と体力との関連【中学校】

学習以外でテレビ、DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面を視聴する時間の経年変化を見ると、令和6年度に比べ、男子では、視聴時間が5時間以上の割合は横ばい、2時間以上5時間未満の割合が0.6ポイント増加した。女子では、視聴時間が5時間以上の割合は0.1ポイント増加した。2時間以上5時間未満の割合が1.0ポイント増加した。また、体力合計点を比較してみると、男女ともに、全く見ないを除き、視聴時間が3時間未満のグループの体力合計点は全国の平均値より高かった。

〔学習以外でのテレビやゲームの画面を見る時間の経年変化〕



〔学習以外でのテレビやゲームの画面を見る時間と体力合計点との関連〕

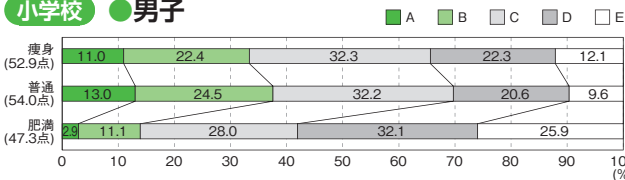


6 体格と体力、運動習慣

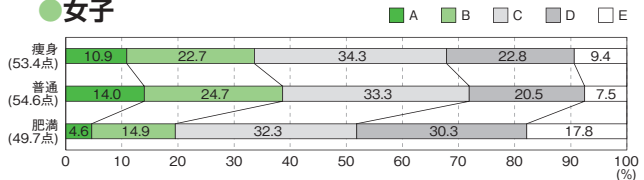
体格が肥満の児童生徒は、普通の児童生徒と比べて、総合評価A・B群の割合が小学校の男子は23.5ポイント、女子は19.2ポイント、中学校の男子は20.4ポイント、女子は20.3ポイント低かった。また、小中学校男女ともに、体格が痩身と肥満の児童生徒は、普通の児童生徒に比べて、1週間の総運動時間が60分未満（0分を含む）の割合が高かった。肥満傾向児の出現割合は、中学校女子を除いて令和6年度に比べ減少した。

〔肥満・痩身別に見た総合評価の割合〕

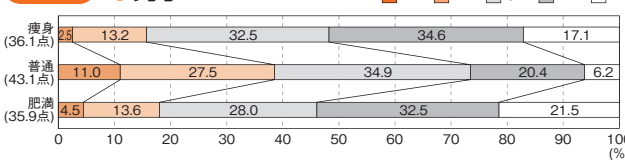
小学校 ●男子



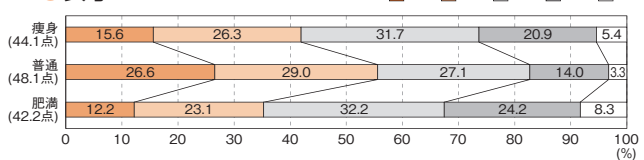
●女子



中学校 ●男子

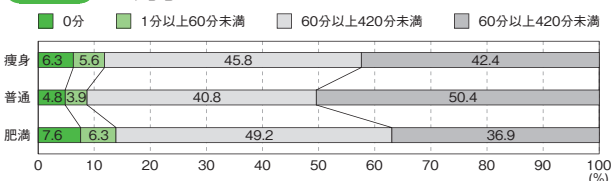


●女子

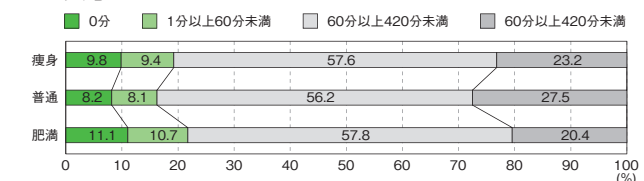


〔肥満・痩身別に見た1週間の総運動時間〕

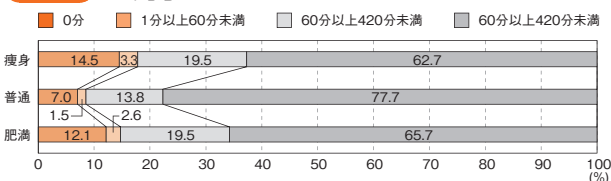
小学校 ●男子



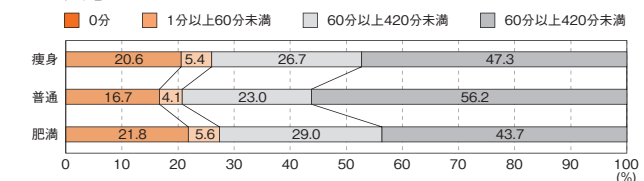
●女子



中学校 ●男子

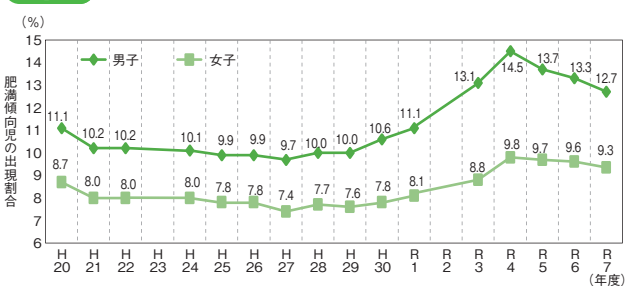


●女子

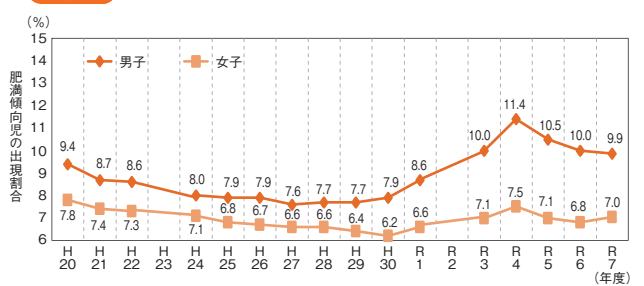


〔肥満傾向児の出現割合の経年変化〕

小学校



中学校



●参考資料 〈肥満傾向児・痩身傾向児の出現割合の算出・判定方法〉

「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂版）」より
平成27年8月25日発行 （財）日本学校保健会

- ・標準体重（kg）＝ a × 身長（cm）－ b
- ・肥満度（％）＝〔自分の体重（kg）－ 標準体重（kg）〕 ÷ 標準体重（kg） × 100

標準体重を求める計数

年 齢	男 子		女 子	
	a	b	a	b
6（小1）	0.461	32.382	0.458	32.079
7（小2）	0.513	38.878	0.508	38.367
8（小3）	0.592	48.804	0.561	45.006
9（小4）	0.687	61.390	0.652	56.992
10（小5）	0.752	70.461	0.730	68.091
11（小6）	0.782	75.106	0.803	78.846
12（中1）	0.783	75.642	0.796	76.934
13（中2）	0.815	81.348	0.655	54.234
14（中3）	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

肥満度	判 定
50％以上	高度肥満
30～49.9％	中等度肥満
20～29.9％	軽度肥満
－19.9～19.9％	普通
－29.9～－20％	やせ
－30％以下	高度やせ

※平成18年度以降、算出・判定方法は変更していない。

Ⅱ 学校に対する調査

(1) 体力合計点の高い学校の取組

体力合計点の平均値が高かった学校（上位10％）における取組の実施率（最も肯定的な回答をした割合）を学校全体の実施率と比較したところ、その差が大きい項目は、小学校男子で質問7「体育の授業で児童同士で話し合う活動を取り入れている」、小学校女子で質問2「家庭・保護者に対して、児童の体力向上に関する働きかけを行っている」、中学校男子で質問13「家庭に対して、生徒の生活習慣（スクリーンタイムを含む）改善のための資料を配付している」、中学校女子で質問13「体力に関する調査の結果を家庭に連絡している」であった。

〔「体力合計点」の高い学校の取組実施率と学校全体の取組実施率の差〕

質問内容			小学校 全体 実施率 (%)	小学校男子		小学校女子		中学校 全体 実施率 (%)	中学校男子		中学校女子			
				上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)	上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)		上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)				
質問1-1	児童生徒の体力・運動能力の向上のための取組として、次のことをどの程度行っていますか。	学校の教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、必要な教育内容を組織的に配列すること	38.5	46.1		7.6	46.5	8.0	36.9	43.3		6.4	40.8	3.9
		児童生徒の体力の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図るPDCAサイクルを確立すること	26.8	34.7		8.0	36.0	9.2	25.4	31.1		5.7	30.5	5.1
		教育内容と教育活動の実施に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること	26.5	32.1		5.6	34.3	7.8	20.1	25.5		5.4	25.5	5.4
質問2	児童生徒が主体的に体力向上に取り組むために、どのような取組をしていますか。（複数回答可）	体育/保健体育の授業改善に取り組んでいる	90.9	92.1		1.3	91.5	0.7	97.1	98.5		1.4	98.2	1.1
		体育/保健体育の授業以外で、児童生徒の体力向上に関する取組を行っている	78.7	83.2		4.5	83.9	5.2	49.9	57.1		7.2	56.1	6.2
		家庭・保護者に対して、児童生徒の体力向上に関する働きかけを行っている	34.8	40.9		6.1	45.7	10.9	17.3	19.3		2.0	23.6	6.3
		地域と連携して、児童生徒の体力向上に関する取組を行っている	20.9	25.2		4.3	26.3	5.3	14.1	18.0		3.9	20.0	5.9
		運動時間が少ない児童生徒に対して、体力向上に関する取組を行っている	19.1	17.6		-1.4	20.6	1.6	15.8	15.2		-0.7	16.1	0.2
		特にしていない	0.6	0.2		-0.4	0.2	-0.4	0.8	0.2		-0.5	0.4	-0.3
		その他	0.7	0.8		0.1	0.7	0.0	0.8	0.6		-0.2	0.6	-0.2
質問3	教師は児童生徒の体力向上や体育/保健体育授業の充実を図るために、どのような取組をしていますか。（複数回答可）	研究授業、授業研究を行っている	45.4	45.9		0.5	41.3	-4.1	76.7	80.0		3.4	78.8	2.1
		校内研修を行っている	44.1	42.5		-1.6	39.8	-4.2	38.8	39.0		0.1	39.0	0.2
		教育委員会が開催する研修会に参加している	56.8	59.7		2.8	58.8	2.0	47.4	51.0		3.5	49.8	2.4
		書籍やインターネットにより情報を得ている	58.2	60.2		2.0	62.4	4.2	61.7	64.0		2.3	66.8	5.1
		地域の運動・スポーツ指導者と連携している	28.2	34.1		5.9	33.7	5.5	26.9	31.7		4.8	34.1	7.1
		家庭と連携している	23.7	29.1		5.4	32.8	9.1	12.8	14.4		1.7	17.0	4.3
		特にしていない	2.1	1.7		-0.4	1.2	-0.9	1.5	0.5		-1.0	0.6	-0.9
その他	2.7	3.0		0.3	2.8	0.2	1.3	1.0		-0.4	0.6	-0.7		
質問4	体育/保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を児童生徒に示す活動を取り入れていますか。	52.2	55.6		3.5	55.9	3.8	69.8	73.0		3.3	74.0	4.3	
質問5	体育/保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。	39.3	41.7		2.4	40.4	1.1	56.2	58.2		2.0	58.6	2.4	
質問6	体育/保健体育の授業では、児童生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。	46.5	53.5		6.9	53.8	7.3	53.7	58.3		4.5	57.3	3.6	
質問7	体育/保健体育の授業では、児童生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。	60.7	69.3		8.6	69.5	8.8	88.9	94.9		6.0	95.5	6.6	
質問8	体育/保健体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。	5.4	4.9		-0.5	4.9	-0.5	17.4	17.7		0.3	19.9	2.5	
質問9	体育/保健体育の授業で大切にしていることを選んでください。（複数回答可）	体を動かすことの楽しさを実感させること	98.7	98.9		0.3	98.9	0.2	97.9	97.9		0.0	98.5	0.6
		技や動きができるようになること	71.3	74.3		3.0	75.4	4.1	66.4	68.0		1.6	69.0	2.5
		仲間と協力して課題を解決させること	82.4	84.0		1.6	83.9	1.5	86.1	90.3		4.2	89.3	3.2
		苦手意識を持たせないこと	58.2	57.6		-0.6	57.0	-1.2	54.4	55.2		0.8	57.0	2.6
		運動量を確保すること	83.6	85.5		2.0	84.5	0.9	76.1	77.2		1.0	77.4	1.2
		体育/保健体育で学習したことを実生活で生かせるようにすること	20.7	22.2		1.5	22.2	1.5	36.6	40.2		3.7	39.8	3.2
		動きのポイントなどの知識を理解させること	51.1	52.5		1.4	55.3	4.2	55.3	58.1		2.7	61.1	5.8
		自ら工夫して練習やゲームが出来るようにすること	54.6	57.3		2.7	57.1	2.5	50.8	54.4		3.5	53.3	2.5
		技能の程度や、障害の有無等にかかわらず、共に学習させること	43.7	44.9		1.1	44.0	0.3	48.4	51.2		2.8	50.3	2.0
		運動領域と保健領域（体育分野と保健分野）の関連を図ること	15.1	15.7		0.6	17.2	2.0	31.6	34.1		2.5	34.1	2.5
		体育や保健の見方・考え方を働かせるようにすること	29.0	30.6		1.6	31.3	2.3	35.8	37.6		1.8	40.6	4.8
その他	0.3	0.4		0.1	0.5	0.2	0.6	0.6		0.1	0.3	-0.3		
質問11	体育/保健体育の授業で運動やスポーツが苦手な児童生徒がいる場合に、どのような取組をしていますか。（複数回答可）	授業中にコツやポイントを重点的に教えている	82.6	84.2		1.6	84.1	1.6	85.2	88.3		3.1	86.5	1.3
		授業中に児童生徒自らが工夫して行えるようにしている	45.1	44.4		-0.7	45.6	0.5	45.5	48.3		2.8	46.7	1.2
		その児童生徒に合った場やルール等で行えるようにしている	80.7	81.5		0.8	82.8	2.1	77.8	80.8		3.0	79.3	1.5
		児童生徒の実態に応じ、運動課題を段階的に準備している	77.7	79.1		1.5	77.0	-0.6	76.1	75.5		-0.6	77.8	1.7
		教師や友達の実似を促している	55.8	55.3		-0.5	55.5	-0.3	43.8	43.7		-0.1	47.0	3.2
		友達同士で教え合いを促している	84.0	86.7		2.7	87.1	3.1	82.6	89.2		6.6	87.9	5.3
		授業中に自分の動きを撮影した映像を見られるようにしている	46.5	47.3		0.8	47.0	0.4	44.8	47.9		3.1	49.0	4.2
		授業外の時間にも教えている	11.1	12.7		1.5	13.7	2.6	5.3	4.2		-1.0	4.6	-0.7
		授業外の時間に児童生徒自ら練習するように促している	13.1	15.1		1.9	15.1	2.0	6.7	6.2		-0.5	6.8	0.1
		授業外の時間に児童生徒が本や映像を見られるようにしている	15.3	16.9		1.6	15.4	0.1	12.0	11.8		-0.2	13.5	1.5
		特にしていない	0.1	0.0		-0.1	0.1	0.0	0.2	0.1		-0.1	0.2	0.1
		運動やスポーツが苦手な児童生徒はいない	0.1	0.2		0.1	0.2	0.1	0.1	0.1		0.0	0.1	0.0
		その他	0.2	0.2		0.0	0.2	0.0	0.4	0.2		-0.2	0.3	-0.0

質問内容			小学校 全体 実施率 (%)	小学校男子		小学校女子		中学校 全体 実施率 (%)	中学校男子		中学校女子				
			上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)	上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)	上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)	上位校 実施率 (%)	全体実施率 との差 (ポイント)					
質問12	障害の有無にかかわらず共に学ぶ体育授業のために、障害のある児童生徒への指導にあたり、どのような工夫をしていますか。（複数回答可）	その児童生徒に合ったルールで行えるようルールの工夫をしている	77.6	73.0	-4.6	72.5	-5.2	76.4	74.8	-1.5	71.9	-4.5			
		児童生徒の実態に応じて、使用するゴールや的などの距離を調整する等場所の工夫をしている	68.9	63.3	-5.6	63.2	-5.7	62.4	57.4	-5.0	56.1	-6.3			
		他の児童生徒とは別の用具を使う等用具の工夫をしている	28.7	23.8	-4.9	24.7	-4.0	26.0	21.7	-4.4	22.4	-3.6			
		視覚的に分かりやすい指導や動きを細分化して指導するなどの工夫をしている	52.5	49.3	-3.2	47.3	-5.2	49.2	44.6	-4.6	45.7	-3.5			
		特にしていない	1.1	1.1	0.0	1.1	0.0	1.8	2.1	0.3	2.2	0.4			
		障害のある児童生徒はいない	9.1	14.1		5.0	15.3	6.2	10.0	13.8		3.8	15.6		5.6
		上記以外の工夫	0.9	1.2		0.3	0.8	-0.1	1.2	1.1		-0.1	1.0		-0.2
質問13	運動やスポーツ、児童生徒の体力について、家庭とどのような連携をしていますか。（複数回答可）	児童生徒と家の人が一緒に運動やスポーツをする機会を設けている	16.8	24.2		7.4	25.8	8.9	9.4	12.3		2.9	12.1		2.7
		家庭に対して、児童生徒が運動やスポーツを実施することを啓発するための動画や資料を提供している	19.5	23.2		3.6	23.4	3.8	10.5	11.3		0.8	12.0		1.5
		家庭に対して、児童生徒の生活習慣（スクリーンタイムも含む）改善のための資料を配布している	44.2	52.1		7.9	54.5	10.3	29.5	37.5		8.0	36.3		6.8
		家の人や児童生徒に対して地域の運動やスポーツに関する行事に参加するよう促している	30.7	34.0		3.3	36.1	5.4	22.8	26.5		3.7	27.4		4.6
		体力に関する調査の結果を家庭に連絡している	59.4	63.2		3.8	64.1	4.8	35.9	41.1		5.1	43.3		7.4
		特に連携はしていない	11.3	7.2		-4.1	6.5	-4.8	31.6	23.2		-8.4	24.0		-7.6
		その他	1.7	1.8		0.1	1.3	-0.3	1.9	1.5		-0.4	1.0		-0.9
質問14	健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを、児童生徒に伝えていますか。	36.7	42.1		5.3	43.2	6.5	37.8	41.9		4.1	42.0		4.2	
質問15 ※小学校のみ	体育の授業で教科担任制を導入していますか。	34.6	38.5		3.9	36.1	1.5	—	—	—	—	—	—	—	
質問17 ※中学校のみ	保健体育の授業における男女共習にあたって、どのような工夫をしていますか。（複数回答可）	ペアやグループ編成等への配慮	—	—	—	—	—	85.2	91.5		6.3	91.4		6.2	
		健康・安全に関する指導の充実	—	—	—	—	—	62.6	66.0		3.4	67.5		4.8	
		参加する仲間の状況に応じて楽しむ方法を学べるようにする指導の工夫	—	—	—	—	—	61.2	66.2		5.1	67.0		5.8	
		用具やルールの変更や、それらの変更について仲間と話し合う活動の実施	—	—	—	—	—	57.8	65.1		7.3	61.3		3.5	
		個別の課題設定	—	—	—	—	—	35.8	39.1		3.3	37.2		1.4	
		特になし	—	—	—	—	—	5.0	1.7		-3.3	1.8		-3.2	
		上記以外の工夫	—	—	—	—	—	0.8	0.5		-0.3	0.2		-0.6	

(2) 新体力テストの実施状況

小学校の第5学年における新体力テストの実施率は令和6年度が99.1%であったが、本年度は98.9%であった。第5学年以外の学年については、令和6年度が76.7~91.0%であったが本年度は73.9~89.3%であった。中学校の第2学年については、令和6年度が99.3%であったが、本年度は99.1%であった。第2学年以外の学年については、令和6年度が95.0%（第1学年）、95.1%（第3学年）であったが、本年度は92.7%（第1学年）、92.9%（第3学年）であった。

